



発行／小諸市（駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム）

お問い合わせ／小諸市企画課 0267-22-1700（内線256） e-mail : machi@city.komoro.nagano.jp

## 3年間かけて、駅～大手門周辺の魅力再生を進めます

小諸市では、今後約3年間かけて、小諸駅・大手門周辺の総合的な整備を進め、「小諸の顔として誇れるような魅力ゾーン」を創出していく計画です。

大手門はすでに改修工事に入っており、平成20年春に完成予定です。それに合わせて、駅～大手門周辺整備、休館となっている本陣主屋等の再活用を進めます。

この事業により、懐古園～大手～本町・北国街道という歴史ポイントをつなぐ観光客の回遊軸の形成、独自性のある文化とにぎわい施設づくりを進めたいと考えています。

なお、駅舎の整備は、整備予算やしなの鉄道等との調整の必要から、今回の3年間の整備計画には含めず、周辺整備の方向性を見ながらじっくりと計画を練っていく予定です。

+小諸のファン

## 市民の皆様からご意見やアイデアをいただきながら、計画をまとめていきたいと思えます。

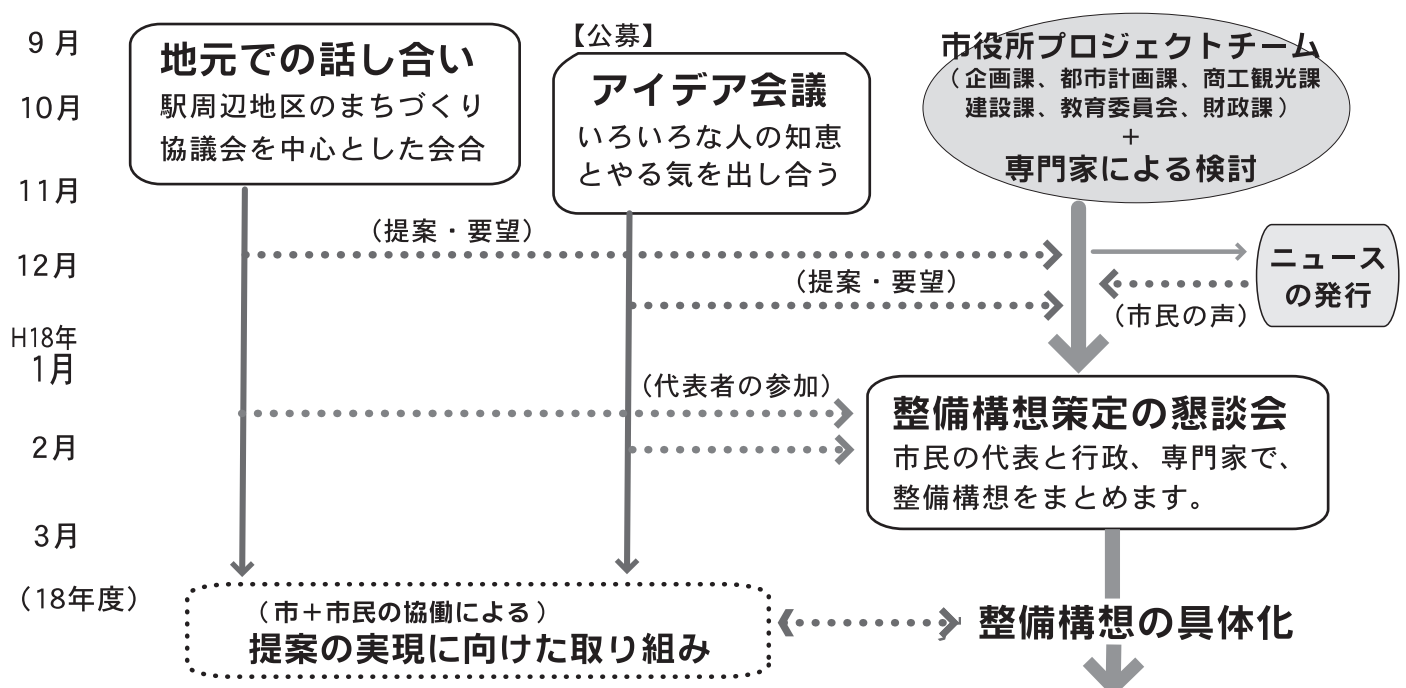
今年度は、整備の方向性を決める「構想策定」を目標とし、「小諸の顔としてどんな整備をすべきか」「現在の課題は何か」という段階から、計画づくりをスタートさせます。

以下は、おおまかなスケジュールです。

いろいろな場面で、市民の皆さん、外から小諸を応援してくれている方に、広くご意見をうかがいたいと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。

また、歴史資源の調査やワークショップの運営については、地元のまちづくりNPOにも協力してもらい、進めたいと考えています。

### ●駅周辺整備構想づくり・スケジュール案



# 係) 駅周辺まちづくり・アイデア会議

小諸の魅力づくりにいろいろアイデアをお持ちの方、「こんな施設が欲しい」と思っている方、お店づくりなどに挑戦してみたい方、とにかく小諸が大好きな方を募集いたします！

参加者募集

## あなたほどのテーマで参加しますか？

### 1, 店、食べ処

例) 公園でオープンカフェ、  
白いもレストラン、工芸ショップ  
特産品市場

### 2, 景観・緑花・水

例) 魅力の小径づくり  
ガーデニング、子どもの遊び場

### 3, 観光の目玉

例) 城下町体験館、  
伝統工芸体験、日本一のトイレ

### 4, 情報・交流

例) こもろ文学資料室、  
観光ガイド、体験プログラム

### 5, 歴史資源・まち物語

例) 小諸城の遺構を活かす  
まちのお宝を見せる、民話を語る

### 6, アート&イベント

例) 大手門と公園活用イベント、  
コンサートステージ、ライトアップ  
スケッチ、工芸家の作品展示

### 7, その他



(開催予定日) \*全部出られなくてもけっこうです

### 第1回 10月8日(土) ごご2:00~5:00

事業の説明、駅周辺を歩く~整備の視点をまとめる

\*5:00~有志で懇親会(こちらだけでもどうぞ!)

### 第2回 10月19日(水) よる7:00~9:00

テーマ別に課題や提案を出し合う

### 第3回 11月9日(水) よる7:00~9:00

テーマ別に提案をまとめる

### 第4回(公開発表会) 12月3日(土) ごご2:00~5:00

テーマ別の提案を発表し、みんなでどのような事業をすべきかを  
絞り込む \*市長も参加予定。

### (会場) コミュニティセンター

\*市役所よこの立体駐車場の  
屋上に入ります。



## ●参加申し込み方法

お名前、ご住所、電話番号、ご職業(所属する会など)、取り組みたいテーマの番号を、下記事務局まで郵便、電話、ファックス、メール等でお知らせ下さい。

### ●送り先・お問い合わせ

〒384-8501 小諸市相生町3丁目3-3 小諸市役所企画課まちづくり推進係 0267-22-1700(内線256)

FAX 0267-23-8766 e-mail: machi@city.komoro.nagano.jp



発行／小諸市（駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム）

お問い合わせ／小諸市企画課 0267-22-1700（内線256）e-mail : machi@city.komoro.nagano.jp

## （駅周辺まちづくりへの、市民意見が集約されてきました）

小諸市では、今後約3年間かけて進める予定の小諸駅周辺の総合的な整備事業について、9月から地元の協議会、公募市民によるアイデア会議を開催し、さまざまなご意見、ご提案をうかがってきました。今後はそれを反映しながら、計画の素案づくりを進めていきます。

### 地元の会合で出された主な意見

#### 【ハード／動線、施設、景観について】

- ・本町の上の方でバスを降りて、大手門や懐古園まで歩いてもらう観光動線を考えたい。
- ・駐車場を使いやすくしないといけない。今はどこに車を止めていいのかわからない。
- ・町の中に緑と水が少ない。すべて石で覆うのではなく土を残して緑を育てたい。水の見える町にしたい。
- ・駅から北側に緑、木陰が少なく、魅力がない。
- ・懐古園をもっと魅力のあるものにしたい。
- ・明治～大正のレトロな雰囲気のある建物を大切に。記憶を呼び戻すまちづくり。
- ・駐車場とセットで案内・情報センターが必要。
- ・高齢化社会に向けて、段差のない歩きやすい町に。
- ・浅間山や町並みの眺望ポイントをPRする。

#### 【ソフト／回遊、魅力PR、集客施設店の充実】

- ・まちをめぐってもらうための、楽しいソフトのしかけが必要。たとえば、文学のめぐり道。
- ・巡廻バスの充実、目立つ乗り物を走らせたい。
- ・藤村の通った道など、藤村をもっと活かしたい。
- ・本陣主屋内の資料に魅力がない。ガイドの詰め所にしてはどうか。
- ・郷土博物館の資料を市街地に持ってきたい。
- ・歴史的資料館や美術館が市街地にあるといい。
- ・所々に、気軽に入れる食べ処、喫茶があるといい。

#### 【まちづくりの進め方について】

- ・観光に偏らず、人口を増やす取り組みも必要
- ・小諸は資源が多いので、観光に特化した方がいい。
- ・核となる設計士などに一任して、ストーリーとセンスのある将来像を描きたい。
- ・市民が参加意識をもつしかけを考えてほしい。
- ・地元との計画の擦り合わせを重視してもらいたい。

#### 各地区まちづくり推進協議会での

会合日と参加人数（のべ65名）

本町区 9/26・7名 市町区 9/27・19名  
大手区 10/4・27名 相生町 10/5・12名

#### 市町通り／

- ・この道を広げる計画を見直し、現状の道幅のままにしておきたい。
- ・交通量が多くゆっくり歩けない。建物を見る場所、写真をとる場所の確保も兼ねて、部分的な歩道や待避所を設置しては。

- ・裏町は、江戸以前の街道。蔵や緑のあるいい雰囲気の散策路としたい（沿道住民の美装化の要望）

本陣問屋は市町の自慢。老朽化が著しいので早く修復したい。せめて時々、表の戸を開けたい。

江戸時代の城の敷地を囲む石垣を残す。危険箇所の整備必要。

#### 本町通り／

- ・車通りが多く危険。バス旅行客をよべない。
- ・一方通行の社会実験なども行えるとよい。（相生町も一緒に）

由緒ある寺社などをもっとPRする。

藤村をいかして欲しい。藤村旧居跡を活用したい。

いずまん跡地を駐車場として、ここを起点に観光してもらえるとよい。

市役所南庭に大型バスを入れられるように整備する。

#### 相生町／

- ・相生町の一方通行化と駐車帯設置、無電柱化と景観に配慮した取り組みが必要。
- ・段差の解消や歩道舗装へのウッドチップの導入を図りたい

自由通路は活用しないともっていない。

地下連絡道を使いやすくしたい。

電車から見えるので並木をつくるなどきれいにしたい

小諸城の城郭が残っているので活かしたい。

本陣問屋

大手門

藤村旧居跡

本陣主屋

小諸駅

三の門

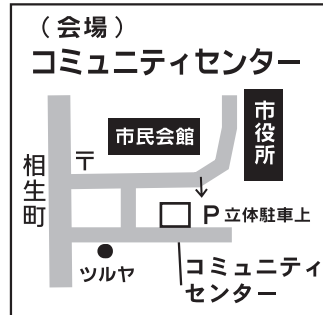
# 駅周辺まちづくり・アイデア会議 発表会のお知らせ

## ★ 12月3日（土） 2時から発表会

1時～ 各テーマごとのアイデアの掲示開始

1時30分～ 駅周辺のまちづくり資源の調査報告（小諸町並み研究会）

### 2時～5時 駅周辺まちづくりアイデア発表会



市役所よこの立体駐車場の屋上に入口があります。

前回の通信での募集に対し、第3回まででのべ105名の方がアイデア会議に参加し、テーマ別に毎回熱い議論を繰り広げました。そこから生まれたアイデアを、広く市民のみなさんに伝え意見交換する場を設けたいと思います。また、1時30分からはまちづくり資源（歴史等）調査の報告がありますので、興味のある方は早めにおいで下さい。

### 【会議で出た主なアイデア】

#### 1. 店、食べ処

クラフト(手仕事)と食をテーマに人とモノの出会いをつくる。

- クラフトショップ+工房 & 高原フードのカフェ (夏は木陰のオープンカフェに)
- 駅ひろばで農と食のマーケット (拠点となるミニ道の駅)
- 手作業作家の拠点ギャラリー
- イベント/クラフトフェア

#### 2. 景観・緑花・水

駅周辺に「小諸らしい」風景、いこいの場や小径をつくろう！

- 駅舎前～しなの鉄道駐車場/緑豊かな駅前ひろばをつくる。
- 大手門～懐古園/城内であることを感じさせる歴史と緑のエリアづくり。歩きたくなる小径づくり。
- ふるさと感じさせる木(りんご柿など)や石垣で特徴ある修景を。

#### 3. 歴史・観光施設

まち全体を考えた計画が必要。

- 城下町歩き案内拠点、ガイドの詰め所。
- 本町～懐古園の人の流れをつくるため、本町の上にバス駐車場+案内拠点をつくる。
- 情報発信を1本化、充実する。
- まちづくり関係団体の共同オフィスをつくりたい。

#### 4. 情報・交流

- こもろ企画オフィス 小諸プロデュース企画/情報収集～編集/TMOが主体となりNPOなどが連携/スタッフ育成
- 交流観光拠点 観光案内/ギャラリー&ショップ/カフェ/ガイド詰め所
- 市民交流拠点 市民サロン、情報ライブラリー、

#### 5. アート&イベント

町並み+藤村で町側を観光的にアピールする

- 藤村旧居を復元し「島崎藤村記念文学館」知的アミューズメント施設/図書館的要素を持った文学カフェ
- 「藤村」の情報発信/マップ、ルートづくり
- 2007年小諸義塾開校/エコー松代のような一定期間連続する講座
- 懐古園内でのイベント開催の方法を明示してもっと市民の活用を進める



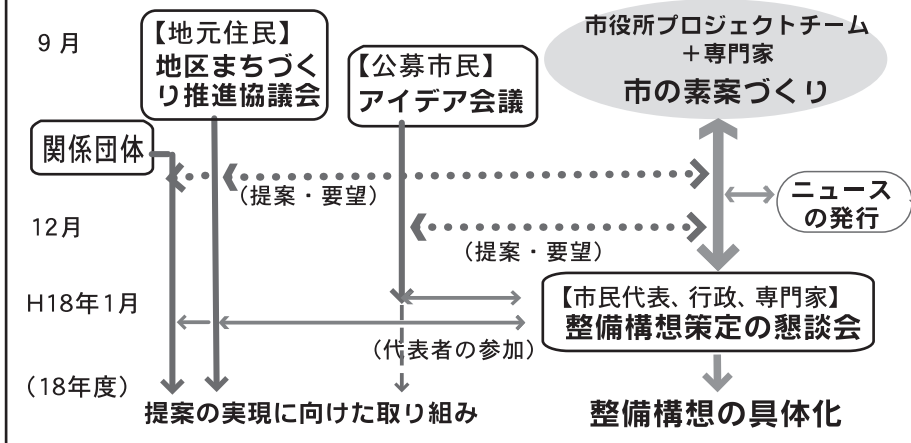
### 今後の予定

地元からのご意見、アイデア会議での提案をうけて、今後、整備構想の素案をまとめていきます。

来年の1月をめどに市民代表、行政、専門家による「懇談会」を発足し、素案をもみながら3月ごろには計画をとりまとめたいと考えています。アイデア会議で出されたソフトの提案は、今後も継続してかかわっていただけるしくみを検討中です。

どうぞ、よろしくお願いたします。

### 駅周辺整備構想づくり・スケジュール案



① 藤村旧居を復元し「島崎藤村記念文学館」にしたい



- ★駅北に観光客を呼ぶために藤村旧居跡にスポットを！
- ・図書館・研究所的要素〜カフェで藤村の作品が読める
- ・藤村研究の論文・文献コレクションが見られる
- ・藤村文学賞受賞作品がある
- ・まず用地を市で取得、最終的に旧居移築・復元をめざす。

★まずは市民の関心を高める〜そのためにすぐできること  
千曲川のスケッチマップ作成、場所をプレートなどで表示  
藤村の足跡をたどる歩く会／小諸での藤村の生活再現／藤村の散策コース設定／旧居の写真・絵及び間取り図等の表示。

投票数 22 / 「藤村」は大事／早急に／文学の香り、藤村を生きさない手はない／明治の体験を／お茶のみながら藤村を語ろう／藤村旧居は、絶対に復元すべし／小諸市民で礼をつくして実現しよう／現在建っている洋館の保存

投票数 5 / 「小諸義塾」すごくいい／まず地元の人々が学ぶ→その人が訪問者へ文化や歴史を伝えるのが大事

投票数 12 / 能の会はすばらしかった／色々なイベントが今後実現して行くとうれしい／結婚式は？／イベント回数・ジャンルは多い方がよい／年2回くらい迄ならよい

投票数 2 / 小中に高が加われば企画・実行も可！／電車待ちの高校生の溜まり場を

投票数 2 / これはすぐできそう／大至急に！

② 藤村にかかわるイベントを実施

- ・藤村作詞の歌曲のプロアマコンサート
- ・2007年小諸義塾開校（劇・美術・クラフト・職人文化・舞台美術など）一定期間連続する講座、体験制作型の講座も開講する。

③ 懐古園を活用を進める（市民が活用しやすくする）

懐古園内でのイベント開催の方法を明示してもっと市民の活用を進めることができること・できないこと、申請のしかたなどを広報する。

④ 駅周辺でのイベントを企画する

周辺地域の市民住民（中学生高校生含む）による野外ライブ（軽音楽・吹奏楽）／街角でパフォーマンス（パントマイム・歌・演奏）

⑤ 殺風景な大手門公園の工事仮設塀をなんとかしたい

3年間もあるのだから、各小学校の子供達に絵をペイントしてもらったら。

進め方について

・これらのアイデアをぜひ実現したい。少しずつでも実現したい（6）

各アイデアは共通点が多い 統合すれば実現性が高くなる／箱ものだけ増えてもだめ。責任持って実践できる案にしぼる／休日や夜遅くまでかけたアイデア。絞り込んで実現を／全部のアイデアを公共の場所に掲示して／実現可能なアイデアから実現したい

・実現に向け体制をつくっていくことが重要（3）  
小諸らしさを生み出す取り組み。市民の力を受け止める組織づくりをしてほしい／役所も、市民の側も動ける体制をつくらないといけないですね／相生町、本町等、地区との連動、協力、調整が必要

各グループのくわしいアイデアは、市ホームページの「駅周辺まちづくり」のコーナーに掲載します。  
アクセス／トップ→くらしの情報→市役所案内→まちづくり

これからのスケジュール

市民アイデア会議は、第4回の発表会を持って終了しました。

メンバーのみなさんは、ほんとうにごくろうさまでした！

今後は、整備にかかわる計画については、今回提案された市民アイデア、

地元や関係団体の意見を整理し、魅力あるまちづくりの計画を組み立てていきます。予算の調整、土地所有者との交渉など行いながら実現性のある市の素案としてまとめていきたいと思ひます。

1月下旬に「整備構想策定の懇談会」を発足させ、地域代表、関係団体代表（アイデア会議参加者）など20名程度のメンバー（未定）で、素案を揉んでいきたいと思ひます。その中で、今回のアイデアを実現させていくための、体制やしきみづくりについても知恵を出し合っていけたらと思ひます。またその話し合いの内容は、この通信や市のホームページなどでお知らせし、より多くの市民の方にご意見をいただけるようにしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



発行／小諸市（駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム）  
お問い合わせ／小諸市企画課 0267-22-1700（内線256）e-mail : machi@city.komoro.nagano.jp

「駅周辺まちづくりアイデア会議」の発表会（12/3）で、夢のある市民アイデアがたくさん出てきました！

発表会のようす

この日は、10月から3回行った会議の成果の発表会として、70名余の市民と市役所職員が集いました。発表を聞いて、それぞれ気に入った案にコメントを貼り、それを見ながら全体で意見交換を行いました。「ぜひ実現したい」という会場の盛り上がり、「市役所にやれというだけでなく市民もがんばって」という市長あいさつで、今後への一歩が踏み出されました。

1 各グループ、それぞれ10分くらいで発表しました“マイクを離さない”方もいましたが・・・



●発表会参加者 計72名  
市民58名、行政約10名、スタッフ4名  
\*コミュニティセンターにて

2 発表を聞いてから、みんな投票。1人4票、コメントを書いてカードを貼りました。うん、これがいかなあ。



各チームのアイデアのまとめ

・城下町側の、駅から離れたところにバス駐車場、乗降場を配置し、回遊性を高める。

観光拠点の駐車場として暫定利用

緑の小径づくり

歩行者専用道、りんご並木など

地下道をスロープに

・城下町ビジターセンター  
・ボランティアガイド拠点（本陣またはその他の場所／本陣は狭いし使いにくそう）

田島陶器店裏の伝統建築の活用  
景観的にあるほうがいい／ショップに

懐古園を活用しやすくする

駅前ひろばで産直青空マーケット  
アート&クラフトフェア

●くらしかる浪漫館  
おしゃれなカフェ & クラフトショップ  
・夏は公園にオープンカフェ

旧城跡の道を軸に歴史と緑のエリアづくり

看板のルールづくり

緑豊かな駅前ひろば  
・しなの鉄道駐車場  
・「小諸らしさ」を演出する緑  
・イベントもできる市民ひろば  
・駅〜大手、相生町方向へつなぐ

ミニ道の駅／産直商品販売／観光案内／トイレ

東西自由通路を活用

藤村旧居跡

藤村旧居を復元し、「藤村記念文学館」に

【場所は特定しない】  
・小諸ビジターセンター  
・市民の活動情報センター  
・こもろ企画オフィス



# 各チームから出されたアイデア

## 食・店チーム

- 「くらしかるろまん館」を使い  
**カフェレストラン&クラフト・ギャラリー&ショップ**  
 ロケーションのステキなおしゃれなカフェ  
 地元の食と手仕事を味わえる店 ~女性が必ず来なくなる店をつくる。  
 1階/カフェ (レストラン)  
 ・夏は大手門公園にパラソルとベンチを出してオープンカフェとする。  
 ・夜は、屋外でワインを飲みながら音楽を聴けるとよい。  
 ・食材は、高原のアイスクリーム、御牧が原の白いもなど特産品を使って。  
 2階/クラフトの店&ギャラリー&体験工房
- アート&クラフトのフェア開催→ 拠点ギャラリーづくりへ**  
 小諸にたくさんいるクラフトマン支援とまちの活性化の相乗効果!  
 ●年に1~2回の、クラフトマン大集合の展示販売のイベント  
 ●クラフトマンの拠点ギャラリーづくり  
 ・クラフトフェア出展者を中心に「拠点ギャラリー」の企画運営を行なう  
 ・2週間くらいの単位で入替え、いつも何か企画展をやっているのが大事。  
 ●クラフトマンのチャレンジショップ  
 1坪店がいくつか入っている横町風ショップ。古い建物利用もよい。
- しなの鉄道の駐車場を**駅ひろば+ミニ道の駅+屋外の食のマーケット**  
 ●駅をでたら広場があって、大手門の観光エリアにつながっている。  
 ●食のマーケット/市民が日常的に集まる産直野菜、加工品の市。  
 ●ミニ道の駅/地場野菜や加工品直売/味見&お茶スタンド/観光案内  
**★そのためにまず『小諸の食の研究会』を発足しましょう!**



**投票数 17** /場所にピッタリ/女性は買物と見る物がセットだと行く!/必ず旅行者の集まるスポットとなる/建物が収益を生むことが大事

**投票数 16** /いい企画/ぜひ実現して!/歴史だけでなく新しい文化を作りたい/空き店舗活用/クラフトマンの長屋形式よい/テントならすぐオープンできそう

**投票数 13** /市民と来客者も楽しめる広場があると良い/新たな駅広の交流・アイデアとしてぜひ実現して/懐古園の側にもつなげて欲しい

## 景観、緑花、水チーム

- 古城の森と田園の緑の駅前ひろばづくり (しなの鉄道駐車場も含む)**  
 ・ロータリーを最小限にして、イベントもできる憩いのひろばをつくる  
 ・駅北のしなの鉄道駐車場を活用して、緑のひろばにする。  
 ・樹木、水路、石垣、せせらぎなどで、「古城の森」「小諸の田舎」の風景をつくる。(駅舎からでたときに「小諸らしさ」を感じさせるデザイン。「整備された」空間でなく、自然な雰囲気なものがいい。)
  - 城内であることを感じさせる、歴史と緑のエリア・ルートづくり**  
 ・大手門~相生町/家並みや緑をつなぎ、歩きたくなる緑の回廊づくり。
  - 市宮北駐車場を、歴史観光拠点にする**  
 ・ここから周辺散策、北国街道歩き、相生町、懐古園へ。  
 ・線路側からの三の門の眺望を活かす
  - 田島陶器店のうらの建物の再生、活用**  
 ・駅からむこうに古い建物が見えると、行ってみようかと思わせる。  
 ・コミュニティショップ等に活用する
- 駐車場の周囲の修景・緑化する。
  - 駅前建物の看板を整理し、駅周辺の景観を美しくしたい。
  - 地下通路をスロープにして、懐古園ともっと繋がりをもたせたい。
  - 線路沿いを歩行者用道路にし、りんご並木、花壇、ベンチなど設置。
  - 東西自由通路を、物産販売等で活用。将来的に駅舎とつなぐ。
  - 駅の南側駐車場に、タクシープールをつくる(ロータリーにためない)。

**投票数 24** /駅前の緑は大賛成/イベントのできる広場がほしい/「自然の中の駅」を小諸の売りに/駅~大手門までを一体化し豊かな自然を/森、石垣、水、OK!/緑は市民で手入れを

**賛成 5** /北国街道、懐古園の案内拠点/P敷地内に物産館、軽食等の簡易店舗を  
**反対 6** /駐車場はもっと離してまちを歩いてもらう/拠点駐車場整備に伴う前面道路の拡幅に反対

**投票数 3** /情報ビジターセンターとして使いたい

**投票数 3** /看板のルールづくりを実現して/外せないなら木により看板を隠す

## 歴史・観光施設チーム

- 城下町センター**  
 機能/ボランティアガイドの溜まり場&事務所は市民活動の拠点に/みやげ物販売/情報の集約→各種観光ガイドマップ/  
 場所/本陣主屋の活用の話も出たが...、復元施設で利用上の制約もあり狭くて使いにくそう/くらしかる浪漫館か、三の門を見通せる所(北駐車場)にあるよい \*本陣は歴史学習施設としては活用できる  
 運営主体/市で設置し市民が運営に参加
- 城下町側にバス駐車場、降車場をつくる(駅から離れた所に)**  
 ・少し離れた所に設置して回遊してもらう/駐車場の候補地→市役所南庭いずまん跡地等  
 ・大手門周辺での大型車駐車場の確保は困難→降車スペースは確保する  
 ・駐車場(降車スペース)に観光案内拠点、案内システムをつくる  
 \*懐古園駐車場の廃止。
- 町全体を見直していきたい**  
 場所にかかわること/駅から大手門が見えるようにしたい/懐古園駐車場入り口の横断看板をとる/地下通路の改善/中澤川沿いに散策ルートをつくる/藤村旧居の復元。  
 情報収集~発信/まちづくり、観光の情報を一本化していく。今はばらばらに、同じことをやっている。同じようなマップがたくさんある。

**投票数 6** /ネーミングもいい!/歴史、文化、芸術の展示、地図を配布(散歩コース別につくりたい)

**投票数 13** /回遊性を生むので「駐車場は南庭」に賛成(4)/駐車場移転賛成(2)/駐車場にはきれいなトイレがほしい



イラスト/佐藤重

## 情報・交流チーム

- ・小諸では、さまざまな組織や団体がばらばらにイベント企画や情報発信をおこなっている。それを集約して行く場、組織が必要。
- ・多くの市民がかかわり、その場所の運営~まちおこしへと広げる場。
- ・駅周辺のだけでなく、小諸の郊外の魅力(自然、風景、文化、農業、人材、などの資源を活かし、市全体を元気にする核施設をつくる。

絞り込んで推進が必要

**投票数 8** /ぜひ!/外の人ともつながりがもてる仕組み必要/シンボリックな情報発信地が必要/城下町センターと役割は同じ/資源をネットワークする体制を実現したい

- 小諸ビジターセンター(観光交流拠点施設)**  
 ・観光案内(観光案内+体験プログラム等の案内、相談受付)  
 ・小諸の魅力を伝えるギャラリー(小諸の四季、歴史文化、伝統...)  
 ・物産品販売+ふれあい喫茶コーナー(おもてなし)  
 ・観光ガイドの詰め所
- 市民の活動情報センター(市民交流拠点施設)**  
 ・情報ライブラリー、インターネット情報カフェ  
 ・学習読書コーナー(子ども、高校生の居場所づくり)  
 ・市民活動ミニギャラリー・市民活動サロン(情報交換、会議スペース)  
 \*ソフトのプログラムも実施/まち探検、小諸文学散歩、創作工房、パソコン工房、まちづくり塾、等
- こもろ企画オフィス(まちおこし企画室)**  
 上記の観光交流系と市民系の施設をうまく運営しまちの活性化につなげていくための企画コーディネイトを担うオフィスが必要。  
 ・まちづくりと交流観光にかかわる情報収集  
 ・こもろの情報発信を一元化する(印刷物、HP)  
 ・イベント、交流プログラムのコーディネート(市民向け・観光向け)  
 ・地場産品の商品開発支援~宣伝、販売  
 ・広報、宣伝、渉外、外交(観光協会と協力)

**投票数 11** /市民が情報・意見を出し合える場が必要/ファンクラブを通じて小諸をみんなのふるさとに/予算は、人手は?/旧東急の中に設けサークルなどに部屋、会議室の提供、IT対応設備

**投票数 16** /まずオフィスを作って輪を広げ、センターを実現/PR・誘客は重要!/情報交流と連携を大切に/(東京から)口ハスクラブネットも一緒に企画したい/ぜひ必要!経営は?/本気で会社を



イラスト/佐藤重



発行／小諸市（駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム）

お問い合わせ／小諸市企画課 0267-22-1700（内線256） e-mail : machi@city.komoro.nagano.jp

## 第1回の懇談会が開催され、

## 駅・大手門周辺まちづくり構想案が発表されました



懐古園と町をつなぐ地下通路をおうぎのかなめに  
（宮本忠長さん）

平成20年の完成をめざして進められている「駅・大手門周辺地区の整備」について、これまで地元での会合、市民公募によるアイデア会議を通して、さまざまなご意見、ご提案をいただきました。

市としては、それらのご意見や専門家による調査などをとりまとめ、たたき台となる整備方針案を作成しました。（裏面を参照ください）

今後は、それをもとに「駅・大手門周辺まちづくり整備構想懇談会」の場で、市民代表、行政、専門家がともによりよい計画案のとりまとめをめざすこととなります。

### 第1回の懇談会（1/31）の報告

さる1月31日に開催された第1回の懇談会は、16名の委員、約30名の傍聴者で、会場はいっぱいでした。

市長のあいさつに続き、事務局からこれまで出された意見、駅周辺の資源や課題、市の構想案のたたき台の説明がありました。

その後、建築家の宮本さんが、小布施のまちづくりなどに長年かかわってきた経験から、「まちづくりを成功させるためにはまず『核』づくりが重要。この場所を文化・芸術の核として再生すれば、それがウィルスのように町全体にひろがる。また、懐古園とまちをどうつなぐかが重要で、地下通路再生と東西自由通路活用（ギャラリーなど）が『扇』の要となる」と熱く語られました。

#### ●討議の中で出された意見

- ・もっと、文学散歩道の整備などで「藤村」を活かしたい。芸術性を盛り込みたい。
- ・藤村作品の生まれた土壌を見せて行くことが大事。小諸義塾も再認識、活用したい。藤村とシェークスピアのつながりもあるので美術館もいかしたい。
- ・芸術性をもっと形にして欲しい。感動が重要。
- ・駐車場は近ければいいのだとは思わない。町を歩かせる発想が必要では。
- ・東西自由通路の活用策は必要。
- ・懐古園〜与良までエコカーを走らせるなど、「エコ」を取り入れてほしい。小諸はエコで売りたい。

（懇談会メンバー）16名

座長：福川裕一さん（千葉大工学部教授）

総監修：宮本忠長さん（建築家）

本町区・市町区・大手・相生町・荒町地区・与良区のまちづくり協議会から各1名、古城区、市民団体（アイデア会議出席者から、やまぼうしの会、こもろ情報ひろば、小諸町並み研究会）、小諸観光協会、こもろ観光ガイド協会、小諸商工会議所、しなの鉄道駅長



- ・駅前がきれいではない。駅前〜地下道入り口への緑の軸線をつくるのが最も重要ではないか。
  - ・緑の軸線を、本陣までつなげてほしい。
  - ・デザインに水を取り入れてほしい。
  - ・城の中という雰囲気をつくっていくのが大事。
  - ・ひろばを市民が活用できることが大事。懐古園ももっと市民に活用され愛されないと、外の人も呼べない。
  - ・中心市街地全体の協議会をつくって進めるべきではないか。まちづくりを調整していく場が必要。
- 「次回は、今回の議論のあった点を活かして、さらに計画案を具体的なものにして行きましょう」という座長の福川さんのまとめで閉会となりました。



次回、第2回「駅・大手門周辺まちづくり整備構想懇談会」のお知らせ

2月28日（火）夜6時～ 市役所3階会議室にて \*どうぞ傍聴においでください！

- 歴史的な建物
- ■ ■ 中心となる軸線
- ○ ○ ○ 散策路・小径
- ○ ○ ○ ひろば・緑地
- ◁ 眺望のいい場所

歴史・観光軸として位置付けるこの通りは、小諸城桜馬場（大手門～三の門までの城への道）の雰囲気を演出する。

駅前と大手門公園を繋ぐこの通りは、既存の歴史的建築物を活かし、明治時代の停車場周辺を感じさせる空間とする。

既存の歴史的建築物を活かした、住民の生活が感じられる小径づくり

小諸城の遺構(欄津曲輪)からの町並み、遠方の浅間山の眺望を活かした散策路を整備

本町交差点付近に観光バスの駐車場・停車場を確保し、本町～大手門～三の門～懐古園と繋がる観光動線を確保する。

1階は門扉を開放し、公開。  
2階は大手門の歴史を展示し要望に応じて公開を図る。

観光の目玉となる集客性のある施設を目指す。賑やかな空間づくり。

現在の駐車場を、憩いの緑地として活用する

周遊の拠点として歴史的な建物を活用したい

しな鉄駐車場を憩いのひろばにする

駅周辺の空き店舗を活用し、市民アイデアの小諸企画オフィスなどが入る、情報交流センター(仮)を立ち上げる。

駅前の空間づくりの一環として、相生町線を含めて小諸らしさを演出する通りの修景。

地物販売などを通じて地域の人との交流の場として賑わう施設+トイレ、観光案内所など

懐古園からの緑の連続性を感じさせる駅前づくり。

**小諸駅**

歴史を感じさせる小諸らしい駅舎として整備

※小諸のまちづくりにおいて重要な位置付けとなる「地下連絡道」「東西自由通路」の活用、空間演出の検討

本陣問屋  
本陣主屋

大手門公園

くらしかる浪漫館

駐車場

\*必要性について検討

三の門

【大手門周辺の整備の基本方針】  
旧城内としての歴史を感じる緑の空間をつくり、懐古園の森との連続性を図る。

# 駅・大手門周辺整備構想案 (1/31版)

※第1回 駅・大手門周辺まちづくり整備構想懇談会で、市がたたき台として示したものです。



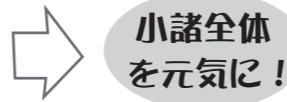
市民アイデア会議の提案を盛り込み、NPO小諸町並み研究会（事業部）がまとめた案です。今後は、このような事業の担い手について、市民有志による研究会などを行い、可能性を探って行くこととなります。関心のある方は、ご連絡ください。（窓口は市・企画課）



発行／小諸市（駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム）  
お問い合わせ／小諸市企画課 0267-22-1700（内線256） e-mail : machi@city.komoro.nagano.jp

### 目標は 市民も観光客も集まる・にぎわいの核づくり

- 町なか再生、特産品開発に波及効果のある「まちづくり事業」を起こす
- 城下町・郊外観光の拠点づくり
- 参加型の施設運営、景観づくり



### 本陣主屋の活用案

活用案／「城下町センター」～町全体が博物館  
・建物公開、城下町と城にかかわる展示。  
・城下町案内、町歩きイベント企画、まち学習の受け入れ。案内、PR、イベント企画などを行う。  
★観光ガイド協会を主体とする市民参加で運営  
★主屋だけではセンター機能を持たせるのは難しい。ガイドの詰め所をかねる事務室、団体へのレクチャーや会議を行える付属屋を設置したい。



### 大手門の活用案

市の計画／  
・1階の門は開放。  
・2階は、歴史関係、大手門修復記録等の展示で、申し込みのあった時に随時公開。  
★城下町センターと連携させ、観光ガイド、企画等で活用していく。



### 本陣問屋

修復について／修復するためには、前の道を2年間通行止めしないといけないといわれており、話が進んでいないですが、地元が管理するなどして、**シーズン土日など、通りから中が見られるようにできるとよい。**

### 地下通路の展示案

（キーワード）自然に引き込まれ、向こう側に向かうような／いにしえと現代をむすぶタイムトンネル展示コンセプト／  
小諸なる古城のほとり、雲白く遊子かなしむ・・・  
（片側）中世から現代までの、城下町の歴史絵巻。  
（片側）美しい小諸の風景写真。藤村の詩。虚子の句（天井）美しい雲、夕映え、星の写真←小諸の雲と夕映えなど。＊ソーラーの発電を利用する。

### くらしがる浪漫館の活用案

1F／レストラン（ガーデンも利用）  
・きちんとした料理を出す店。ガーデンでティーやワインも楽しめる。  
・クオリティの高いパン、スイーツなどの店頭販売も行い、市民に足を向けてもらいやすくする。  
2F／クラフト＋アンティークの店  
・蔵づくりの雰囲気を活かして、工芸品、古い家具や調度品等をリペアしたアンティークを合わせて販売する店などとする。など  
★市の建物で、管理運営を民間委託。



### 三二道の駅

●観光案内所＋観光情報コーナー  
・観光案内所／来訪者、電話での観光案内  
・各種パンフレット、スケッチ景観ポイント紹介、小諸にかかわる図書閲覧、インターネット利用可。  
●物産販売＋軽食スタンド  
・物産販売／地場野菜、加工品、小物等の販売  
・軽食スタンド／飲み物、スイーツ、スナック類  
＊観光情報コーナーと飲食フロアを隣接させ、ゆったりとお茶を飲みながら閲覧ができるようにする。  
★市の建物で、管理運営を民間委託。



### 東西自由通路の活用案

活用案／クラフト＆アート・ストリート  
・30～50の展示ブースを用意し、プロ・セミプロの作家に提供。  
作品展示、工房案内などをしてもらう。  
・シーズン、連休などの企画例／体験工房、クラフト市場、眺望を活かしたスケッチ＆絵手紙コーナー。  
★参加希望作家を公募し、運営協議会を立ち上げる。



## 2/28・第2回目の懇談会で、「駅・大手門周辺まちづくり構想案」が大むね合意されました。

第2回の懇談会では、駅～大手門周辺で進める事業メニューについて議論し、「これでいこう」という合意がまとまりました。（内容は裏面をご覧ください）  
また、市民アイデア会議の取りまとめにあたったNPOからソフトの事業案が出され、今後はそれをたたき台に、市民も主体的に実現の体制などを考えながら進めようということになりました。



懇談会終了後、千葉大学福川研が作成した模型を囲んで

### 第2回の懇談会の内容（概要）

- 駅舎については、別の場で話し合う
  - ・東西自由通路をいかして橋上駅にはできないのか。
  - ・以前行った駅舎の懇談会では、橋上駅でないほうがよいというのが大かたの意見だった。「小諸らしい駅」と考えると、橋上ではないのでは。
  - ・古い跨線橋は、雰囲気があるので保存してほしい。
  - ・駅舎の整備は、平成20年以降の予定なので、今後、別の機会を設けてきちんと検討したい。
- 古城側の駅裏感をなくしたい
  - ・古城区の話し合いでもその声が大きかった。小諸義塾記念館あたりをもっといい雰囲気にしたい。
- 車・駐車場とうまく共存しよう
  - ・新しくつくる集客施設は普段は市民に来てもらわないと行けない。地元の商売の視点から考えても、ある程度の駐車場は確保してほしい。
  - ・「森の中の駐車場」というイメージで、さりげなく車が止められるように工夫したい。
  - ・地面は土がよい。周囲に土を盛り目立たなくする。
  - ・車がない時の駐車場はガランとして町の風格をそこのので、イベント広場にもなるようにしておく。
  - ・現在の月極駐車を周囲に分散すると、周囲の駐車場も合わせて計画を考える必要がある。
  - ・懐古園駐車場も、別の使い方を考えたい。
  - ・桜の季節などは車がずらっと空気を待っている。

参加者 座長：福川裕一さん（千葉大学工学部教授）  
総監修：宮本忠長さん（建築家）  
懇談会委員：13名 事務局：9名 傍聴者：約20名

- イベント時の対応も考えておく必要がある。
- ・ここは車が遠慮する区域、というルールにしよう。
- ・「歩く観光」「歩くまち」でアピールしていきたい。
- 市民が集まってくる場所にしたい
  - ・小諸には12月～3月まで客が来ない。
  - ・だから「三二道の駅」などは、市民を集める目的でつくりたい。ひろばも、市民の憩いの場にしたい。
  - ・レストラン営業なども、市民の集客が必要。
- 緑、景観について／管理育成は市民参加で
  - ・植栽がケヤキの大木などだと、落ち葉の管理などが問題。地元との合意ができるだろうか。
  - ・浅間連邦の生態系を感じられる植栽がよい。大昔からここにあったという雰囲気の。水も大事。水が坂の町を感じさせ、水に導かれて人が動く。（宮本さん）
  - ・緑の管理を楽しみながら市民が育成参加できるようなシステムができるとよい。
  - ・地下通路を出て、町が広がるイメージがよい。
  - ・樹で浅間山を隠さないことをルールにしたい。
  - ・三の門の見え方などもルール化したい。（福川さん）
- 市民が学ぶ場、創造する場をつくらう！
  - ・過去を学んで今をつくるー市民の心をどう育てるかが大事。学習の機会が必要。私も何かしたい。
  - ・自由通路をクラフト・ストリートにするのはいい。これまで場所が決まらなかったがうまく収まった。

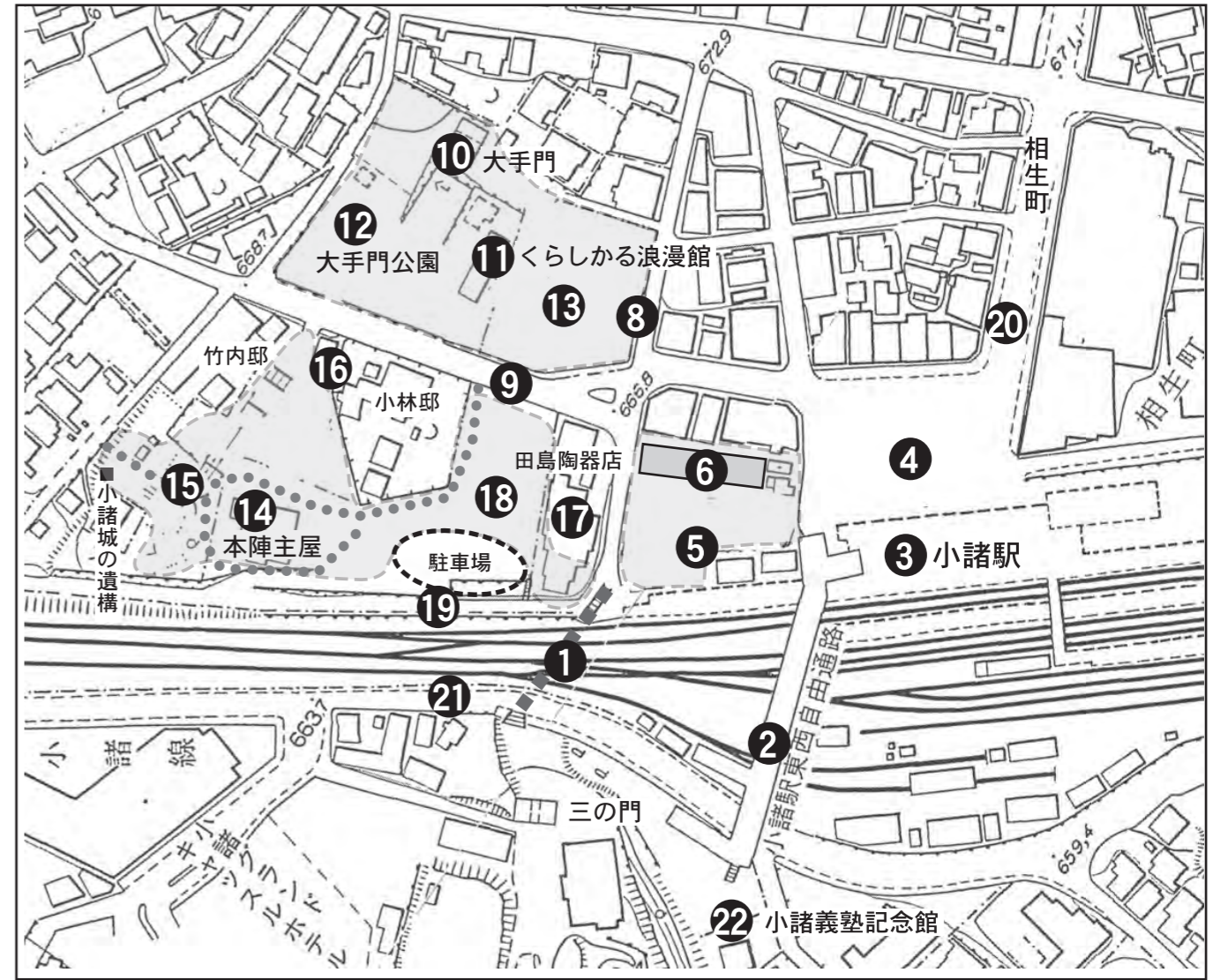
次回、第3回「駅・大手門周辺まちづくり整備構想懇談会」のお知らせ  
3月29日（水）夜6時～ 市役所3階会議室にて ＊どうぞ傍聴においでください！

# 駅・大手門周辺整備／事業メニュー

第2回懇談会では、下記の事業内容がおおむね合意されました。  
 次回は、予算などを考慮に入れ、事業スケジュールについて話し合います。



エリア(分類)	事業項目	概要・考え方 ( )は事業主体のイメージ
扇の要	① 地下連絡道の整備	現代から(中世)近世へと歴史を遡るタイムトンネルとして、小諸の歴史を感じる空間として整備する。東西の扇の要であり、まちづくりの核として優先的な整備を図る。(市)
	② 東西自由通路の整備	地下連絡道や小諸義塾記念館からの連続性を意識し、小諸の歴史・文学・芸術などがわかる空間として整備する。東西の扇の要であり、まちづくりの核として優先的な整備を図る。(市)
駅周辺	③ 小諸駅舎の整備	歴史を感じさせる小諸らしい駅舎となるような整備を図る。(市・しなの鉄道・JR)
	④ 駅前ロータリーの整備	駅舎の整備にあわせ、懐古園からの緑の連続性を感じさせる空間として整備を図る。(市) *懇談会で「水辺づくり」について追加することになりました。
	⑤ 現しなの鉄道駐車場の空間整備	駅前から大手門方向への連続性を持たせ、市民のイベントや市が立つ、「まちのひろば」として賑やかな空間とする。特に市民の要望の強い駅前トイレを優先的に整備する。(市)
	⑥ ミニ道の駅(仮称)の整備(現しなの鉄道駐車場)	地物販売、観光案内等の機能を持ち、地域の人との交流の場としての施設を整備する。(民間または市)
	⑦ 情報交流センターの(仮)設立(場所は未定)	駅周辺の空き店舗を活用し、市民アイデアの小諸企画オフィスなどが入る地域情報センターを設立する。(民間または市)
歴史観光軸	⑧ 桜の馬場通りの整備(大手門～地下連絡道路)	かつての城下への導線である桜馬場を意識し、大手門から三の門にあたるこの通りを、古城を感じる歴史・観光軸として整備する。社会実験などを行ないながら歩行者専用の道路化を検討していく。(市)
	⑨ 明治停車場通りの整備(小諸駅～大手門公園)	小諸駅から大手門公園の通りは、既存の歴史的建築物を活かした明治・大正時代の雰囲気を感じさせる空間として整備する。社会実験などを行ないながら歩行者専用の道路化を検討していく。(市)
大手門周辺	⑩ 大手門の整備	1階は門扉を開放し、市民、観光客への公開を図り、歴史と触れ合う空間、2階は大手門に関する資料を展示し、歴史学習の空間とする。(市)
	⑪ ぐらしかる浪漫館の活用	市民アイデアによる事業を取り入れながら、観光の目玉となる集客性のある施設を整備する。(市または民間)
	⑫ 大手門公園の活用	市民がふれあい、憩える場として既存公園を有効に活用していく。(市)
	⑬ 大手の杜整備(現大塚駐車場)	大手の杜の一部を形成する緑あふれる空間、ぐらしかる浪漫館周辺はオープンカフェなどとして利用可能な空間として整備を図る。(市)
本陣主屋周辺	⑭ 本陣主屋の活用	学習の場、休息の場として既存施設を有効に活用していく。(市)
	⑮ 遺構を活かした小径の整備	小諸城の遺構(瀬津曲輪)からの町並み、良好な眺望を活かした散策路として整備を図る。(個人と市との協議による)
	⑯ 竹内邸、小林邸を活かした空間づくり	既存の歴史的建築物を活かし、そこに住む人の生活が感じられる空間として整備を図る。(個人と市との協議による)



エリア(分類)	事業項目	概要・考え方
市営北駐車場周辺	⑰ 駅側の既存建物の整備	既存の歴史的建築物を活かしながらも、周遊の合間にくつろぎを提供するような空間としての整備、併せて大手の杜の広がりを感じさせる空間構成を図る。(個人と市との協議による)
	⑱ 大手の杜、駐車場の整備(市営北駐車場)	大手の杜の一部を形成する緑あふれる空間として整備する。また、その一部に景観に配慮した駐車場を設ける。(市)
沿いしなの鉄道市道	⑲ 並木道の整備	本陣問屋場(市町)へと続く並木道として歩行者にも配慮した整備を図る。(市)
相生町	⑳ 駅～相生町通りの整備	駅前の空間づくりの一環として、相生町線を含めて小諸らしさを演出する通りの修景を図る。(県・市・民間)
懐古園周辺	㉑ 扇の要をつなぐ歩行空間の整備(県道歩道の改良)	扇の要をつなぎ、歴史観光軸と歴史文学軸とのつながりが感じられる歩行空間を整備する。(県と市との協議による)
	㉒ 小諸義塾の周辺整備	東西自由通路で小諸の歴史・文学に触れた観光客が、自然と藤村にゆかりある小諸義塾に足を運ぶ空間づくり。(市)
駐車場	㉓ 駐車場の有効活用と整備 *広いエリアにかかわるので地図には入っていません	周辺にある既存駐車場の有効活用を図るとともに、来街者のための基幹的駐車場を利用者の動向を見ながら整備する。(市・民間)

お好きなほうに、ご参加ください。  
もちろん両方でも、大歓迎です！

**参加者募集**

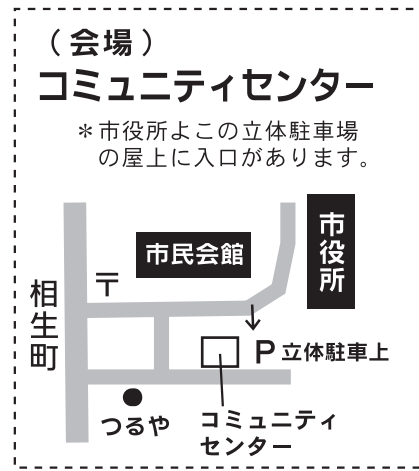
\*第1回に出てみて、参加していくかどうか決めても結構です。

**7月29日(土) 雨天決行**

**会場(集合場所)・コミュニティセンター3階**

問い合わせ・小諸市都市計画課・計画係 / ☎22-1700内線343

当日連絡・090-1200-0239 (荻原)



信州こもろ

**駅・大手門周辺まちづくり通信**

**6**

平成18年7月

発行/小諸市(駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム)

お問い合わせ/小諸市企画課 0267-22-1700 (内線256) e-mail: machi@city.komoro.nagano.jp

駅周辺整備は、3月にまとめた基本構想にもとづき、現在、地権者、関係者の方との話し合いや、国への計画の承認手続きなどを進めています。

今年度は、9月頃から公園部分の設計に取りかかる予定です。それに先立ち、公園デザインのイメージづくり、施設の内容と運営を考える市民参加の場を立ち上げたいと思います。(裏面参照)



**午前 楽しい市民ガーデンをつくろう! ~花と食のガーデニング講座**

**第1回 ステキなガーデン見学会 ~和久井ガーデン見学会**

**7/29 午前9:30~12:00 要申し込み**

講師: 和久井道夫さん (小諸市在住ガーデナー)

★9:30分にコミュニティセンター3階入口に集合し、車の乗り合いで和久井ガーデンに向かいます。

とりどりの花や野菜、手作りハウスなど、とてもすてきなガーデンです。個人宅ですので、この機会にご一緒にどうぞ。

和久井さんは、長野県出身。アメリカ、東京で修行を積んだのち今は小諸を拠点に仕事をしています。最近まとめた本「信州で楽しむナチュラルガーデニング」で話題の人となりました。



**午後 大手の杜・緑のサポーター準備会**

**第1回 大手門周辺の歴史から、特色づくりを考える**

**7/29 午後1:30~3:30**

**会場 コミュニティセンター3階**

事前申し込みがなくてもご参加できます。

大手門周辺の歴史/調査報告・NPO法人小諸町並み研究会

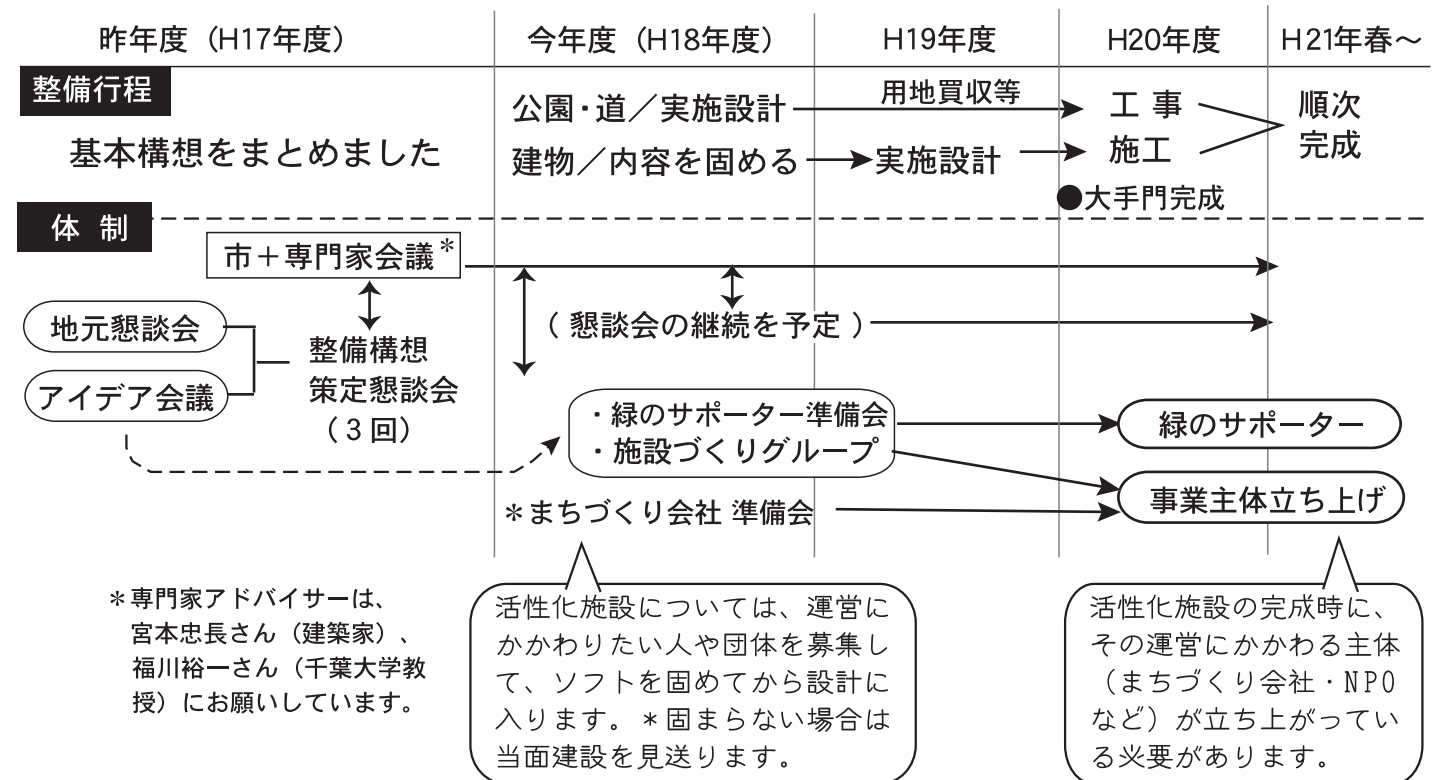
講師・塩川友衛さん (小諸市文化財審議委員)

1回目は、まず市の基本構想についての説明を聞き、その背景となっている歴史について一緒に確認していけるとよいと思います。また、ここにしかない風景づくり、緑の育成をどのように進めていけばよいかについて、意見交換ができると思います。

\*終了後、希望者で現地を歩き、歴史の遺構、市の構想を確認しましょう。

見学会は1時間弱の予定です。

**駅・大手門周辺整備のスケジュール**



**整備構想に盛り込まれた主な事業** (平成21年春の完成をめざすもの)

**【公園・道の整備】**

- 公園/現在の市営駐車場、民間駐車場 → 大手の杜緑地(一部駐車場)整備
- 公園/しなの鉄道駐車場 → 公園に整備
- 道/大手門~地下連絡道までの整備
- 道/地下連絡道の整備

\*豊かな緑を育むために、市民の協力体制を模索しながら設計を進めます。

**【活性化施設】**

- 観光案内所+地場産品ショップ(しなの鉄道駐車場にできる公園内を想定)
- 集客の目玉/内容未定(施設くらしかる浪漫館の活用)
- 東西自由通路を利用したギャラリー等
- 情報交流センター/観光企画オフィス、情報センター(空き店舗等の利用を考える)

\*基本的には、民間による運営体制を考えていきます。

# もり 大手の杜&施設づくりプロジェクトに、ご参加ください!!

昨年度、市民参加で考えた大手門・駅周辺の夢のプランを実現するために、それにかかわる「人の輪」を広げながら、さらに計画を練っていききたいと思います。みなさま、ふるってご参加ください。

(お申し込み／小諸市都市計画課・計画係／☎22-1700内線343 FAX24-3570)

## もり 大手の杜・緑のサポーター準備会

整備構想では、旧城内としての歴史を感じさせる緑の空間「大手の杜」をつくり、懐古園の杜との連続性を持たせる計画です。市民と専門家で知恵を出し合い、他にはない特色ある公園や活用方法を考えていきましょう。

また美しい緑の風景づくりには、管理運営の協力体制が不可欠です。管理についても市民、行政、専門家が一緒に考え、設計に反映させていきましょう。

(進め方案)

- 第1回 (7/29) 大手門周辺の歴史から、特色づくりを考える
- 第2回 城跡の雰囲気のある水と緑を考える
- 第3.4回 風景活用について具体的に考える (設計者とのやりとり)
- 第5回 管理運営の体制・しくみを考える

### これまで出されたイメージ例



せせらぎ・ホタル



浅間山麓の自然・大木

森の中の駐車場



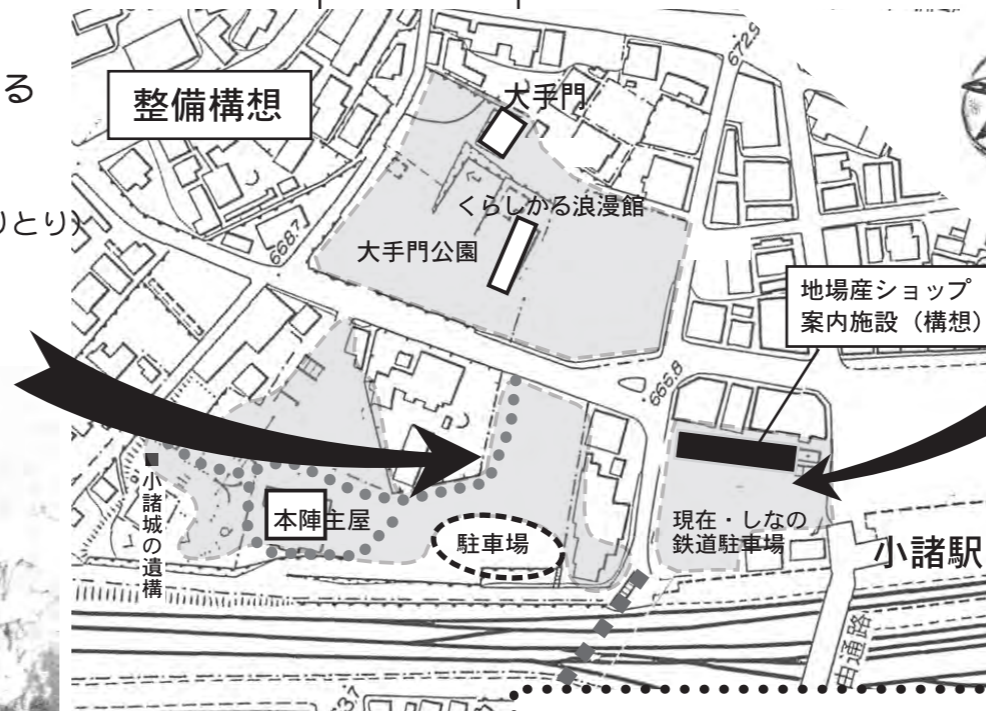
桜の名所・花見



井戸が掘れないか



イベント・にぎわい



花のイメージ

イラスト出典：「信州で楽しむナチュラルガーデニング」より

## 楽しい市民ガーデンをつくろう! ~花と食のガーデニング講座

講師：和久井道夫さん (小諸市在住ガーデナー)

整備構想では、駅の北側のしなの鉄道駐車をまちのひろばとし、地場産品販売などを通じて市民・観光客が交流できる場づくりを進める計画です。

食と花を楽しめる夢のあるガーデンを一緒につくっていきませんか。

地場産品ショップの運営にかかわりたい方もどうぞご参加ください。

みんなで楽しみながら、高原の町らしいガーデニングを町じゅうに広げていきましょう。

第1回 (7/29) ステキなガーデン見学会 (~和久井ガーデン見学会)

第2回 コミュニティガーデンの楽しみ (写真による事例紹介)

第3回 夢のガーデン・デザイン 1 (花と食のおもてなし)

第4回 夢のガーデン・デザイン 2 (管理体制など)

## まちづくり会社を目指し「小諸観光企画オフィス準備会」を進めます。

企画オフィスでは、小諸の資源をいかした観光プログラムをコーディネートし、小諸の情報を発信していききたいと思います。駅周辺まちづくりの中では、整備される観光施設の構想と運営体制づくりにも取り組んでいきたいと思っています。

将来的には「まちづくり会社」として、小諸市全体の観光戦略を考えながら観光施設等の運営に携わっていきたくと考えています。

この準備会には観光協会、観光ガイド協会、NPO有志が参加し、小諸市からも企画課まちづくり推進係が参加して進めていきます。

一緒にまちおこし事業に取り組んでくださる組織、事業者等のみなさまの参加をお待ちしています!

★参加のお問い合わせは、企画課まちづくり推進係 ☎22-1700内線256

(当面の活動)

交流ショップ & 企画オフィス 仮オープン

本陣主屋の 実験的活用



信州こもろ

# 駅・大手門周辺まちづくり通信

7

平成18年8月

発行／小諸市（駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム）

お問い合わせ／小諸市企画課 0267-22-1700（内線256） e-mail : machi@city.komoro.nagano.jp

市民が楽しみながらつくる・じまんの緑・小諸の顔

おおて の もり

## 大手の杜づくりプロジェクトが 始まりました！

大手門・駅周辺に計画中の公園について、かかわる人の輪を広げながら魅力的な水と緑、活用を育ててきませんか、という趣旨のもとに、2つの取り組みがスタートしました。

これまでの施設計画の多くはハード先行になりがちで、四季の豊かな草木や水辺など「誰がめんどろ見るの？」とだめになったり、造ってもだれにも使われないという例もありました。

「大手の杜づくり」では、興味により参加できる2つの取り組みを平行して進め、それぞれで人の輪をつくりながら、秋以降に設計者とともに計画をまとめていく予定です。



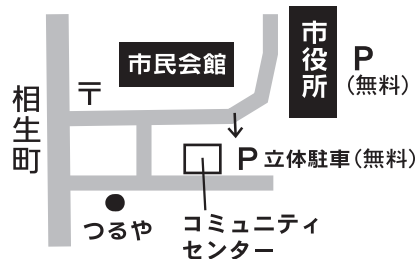
7/29 第1回のガーデン見学会のようす（町屋館）

第1回（7/29）のくわしい報告は裏面をご覧ください

### 第2回のお知らせ

参加無料／今回からの参加も大歓迎です！ ←お申し込みください。

9月3日（日） コミュニティセンター1階



午前 9:30～12:00

#### 楽しい市民ガーデンをつくらう！ 「花と食のガーデニング講座」

講師：和久井道夫さん

- 9:30 小諸駅北側のしなの鉄道駐車場 集合  
（現地の条件を確認）→コミセンに移動
- 10:00 手作りハーブティー、クッキー、ジャムなどいただきながら、ステキなガーデンの事例をスライドで見る。  
その後、市民ガーデンやショップづくりについて話し合います。

午後 1:30～3:30

#### 大手の杜・緑のサポーター準備会 「城跡の雰囲気のある水と緑を考える」

進行スタッフ／荻原礼子（まちづくりプランナー）  
河合嗣雄（造園プランナー）

（検討内容）

- ・懐古園に学ぶ、城跡の雰囲気のある作り方。
- ・水辺、植栽の事例をスライドで見る。  
～大手の杜への提案をまとめる。
- ・管理の課題、体制づくりについて考える。
- \*庭づくり、山野草などについてお詳しい方いろいろと教えていただければと思います。

問い合わせ・申し込み／小諸市都市計画課  
計画係 ☎22-1700内線343  
当日連絡・090-1200-0239

# 大手の杜づくりプロジェクト・第1回（7/29）の報告

午前 ガーデニング講座

## 「楽しい市民ガーデンをつくらう！ vol.1」

参加者：約40名

講師：和久井道夫さん

まずはステキなガーデンを見学をしてイメージをふくらませましょうということで、南が原の「夢ハーベスト農場」に伺いました。バラやハーブなどが咲き乱れ、広大なラベンダー畑が圧巻！ ショップも充実していました。

次にその近くの「錦玉園」（多肉植物育成販売）のヘメロカリスの花畑を訪ね、見渡す限りの花にため息。最後に、和久井さんが手がけたほんまち町屋館のガーデンを見学。その後、コミュニティセンターに戻り、どんな取り組みをしていきたいかの意見交換を行いました。

\*当初見学先に予定していた和久井ガーデンが長雨で閉鎖となり、見学先が変わりました。



ハーベスト農場にて

### 【参加者の意見の概要】

#### ●こんな緑を育てたい

- ・四季それぞれに楽しめる樹を植えたい。
- ・桜がよい。ヤエベニシダレを植えたい。
- ・木村熊二が小諸に普及した桃を植えては？
- ・樹は、鳥の鳴き声、フン害、消毒などが課題。
- ・裸足で歩き、ねっころがれる草はら（芝生）。
- ・座って憩えるような芝生と大樹のこもれび。
- ・ハーブやバラのある市民ガーデンを育てたい。
- ・古城のイメージで、日本古来の山野草がよい。

#### ●水辺がほしい

- ・子どもの水遊びができるような水辺。
- ・ホテルのいる水辺。ビオトープの視点。

#### ●市民ガーデンのショップ

- ・リース、ハーブ、押し花、等+小諸の農産物。
- ・そこで何か手作りできる体験コーナー。

#### ●憩いと集いのデザイン

- ・城跡には和風のオープンカフェを工夫。
- ・コンサートのできる空間、野外ステージ。

#### ●参加の体制について

- ・市民が大勢参加して「市民の杜」づくりを。
- ・ここを拠点に 街全体に花と緑の輪を広げる。
- ・苗を育てる圃場（ほじょう）を別に設けたい。
- ・花と緑を管理の技術的サポート、講習会。
- ・地元区だけでは管理は無理。

午後

## 大手の杜（もり）・緑のサポーター準備会

「大手門周辺の歴史から、特色づくりを考える」

参加者：約40名

講師：塩川友衛さん（小諸市文化財審議委員）

歴史調査報告：NPO法人小諸町並み研究会

午後は、城跡の杜をテーマに学習、検討を行いました。

まず「町並み研究会」から昨年の歴史資源調査の報告があり、塩川さんからさらに詳しい歴史の話伺いました。

大手周辺が桜の名所で、三の丸は殿様が神輿やささら踊りを楽しむイベント空間だったという話などがありました。その後、昨年つくられた「整備構想」の中から、この会で取り組んでいきたい課題を引き出して、参加者全員でポストイットに意見を書いて出し合いました。

「地元だけでは管理できない」という心配の声に対し、花づくりにかかわる市民グループが協力を申し出るなど、具体的な体制づくりに向けた第一歩が踏み出せました。

## NEWS! 設計業者を公募中 ～9月中には決定の予定



小諸市では、大手門公園等の設計者を、提案内容の審査により選ぶ「プロポーザル方式」で選定することとし、現在提案を募集しています。

- 参加できる業者の要件としては、このような仕事をしたことがあり、小諸市の入札参加資格名簿に登録されている事業者です。
- 提案の締め切りは8月末、第1次審査（書類選考）、第2次審査（対面発表）を経て、9月中旬に決定の予定です。
- 審査は市職員、市民代表、専門家で構成される審査委員会で行われます。

# 特色ある公園づくりに・アイデアをください！

みなさんからのアイデアを取り入れて、より使いやすい公園、特色ある公園を設計したいと思います。ご提案をお送りください。

## 1 まちなかに活気を取りもどすために・ 大手の杜でやりたい 催し、イベントの提案

活用の内容によって、ひろばの広さ、施設や設備の工夫が必要です。具体的にご提案ください。

(これまでみなさんから出された提案の例)

- ・コモロヤエビシダレを植えて花見ができるように。
- ・懐古園は紅葉がすばらしい。こちらにも植えたい。
- ・クラフトフェアをやりたい。(駐車場が必要)
- ・菊花展をこちらでやってもよいのではないか。
- ・オープンカフェをつくり、コンサートができるとよい。

(夜の催しを考え照明が必要)



大手門をつくった  
仙石秀久と旗印  
(小諸市誌より)

## 2 観光客の回遊性を高めるために 歴史的な見どころのアイデア

懐古園にも、勘助の鏡石、木村熊二のレリーフ、牧水歌碑など、小さな見どころが点在しています。

おもしろいアイデアを、具体的にご提案ください。

(これまでみなさんから出された提案の例)

- ・昔ここにあった鹿嶋古墳の石を戻す。
- ・仙石秀久にまつわる何かを置きたい。
- ・島崎藤村を感じさせる物を何か表現したい。
- ・明治の停車場を連想させる蔵やレンガを活かす。



小諸義塾は、  
大手門上の空間も  
教室として利用しており、  
島崎藤村も教壇に立ちました。

### 提案の送り先

都市計画課 FAX 24-3570

e-mail : keikaku@city.komoro.nagano.jp

\*お名前、連絡先をご記入ください。

## 第2回「緑のサポーター準備会」「ガーデニング講座」の報告



さる9月3日に行われたガーデニング講座では、まず現地で計画の条件を確認しました。その後グループに分かれて図面を囲み、それぞれ提案をまとめていきました。共通して、「周囲を緑で囲み、雰囲気をよくしたい」「シンボルツリーやベンチを置きたい」「ゆっくりとお茶の飲めるテラスがあるとよい」という意見が出ました。また小さな子どもを持つお母さんからは、子どもも楽しめる公園、芝生ひろば、遊べる水辺への要望が出されました。

午後の「準備会」では、懐古園のように石や苔などに歴史を感じられ四季を感じる緑、歴史的なものを置きたいという意見が出ました。これらの意見は設計に反映し、次回からは設計者を交えて具体的にやりとりする予定です。



信州こもろ

# 駅・大手門周辺まちづくり通信

8

平成18年12月

発行/小諸市(駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム)

お問い合わせ/小諸市企画課 0267-22-1700(内線256) e-mail : machi@city.komoro.nagano.jp

## 大手門の平成の大修理が進んでいます。

大手門の小屋組

再来年(平成20年)春に完成予定の大手門は、一度全部解体して傷んだ部材を補修や取り替えるなどして組み直し、今は骨組みを見ることができます。

およそ400年前の柱の部材などからは、この門をつくった時の城主・仙石秀久や職人達の「小諸城入り口の立派な門をつくるぞ」という気概が伝わってくるようで、現代の職人さん達もそれに負けじと汗を流しています。



## 大手の杜の施設づくりの方針がまとまりました。公園の設計は、具体的内容を検討中です。

中ページをご覧ください

かつては城内だった大手門から駅にかけてを、美しく緑豊かなエリアとして再生しようという「大手の杜」づくりは、昨年決まった基本計画にもとづいて、具体的な設計が進んでいます。現在、具体的な土地利用などについて調整を図っており、それがまとまってきましたら、市民のみなさまに具体的な計画としてお知らせし、ご意見をいただく予定です。

市民アイデアを実現するために、ただいま奮闘中!

四季の花と緑を!

水辺が欲しい・・・



本陣主屋わきの井戸を水源にできないか検討しています。

イベントのできる空間が欲しい



大手門公園のステージなどを、使いやすくできないか検討しています。



サクラやモミジを植えたり、花のあるガーデンを検討しています。

## 設計者を広く公募し、市民参加の審査会で選定しました。

大手の杜の設計者は、提案を公募し、それをもとに選定する方法で選びました。

応募してくれたのは5団体でした。

選定は、昨年「構想策定懇談会」の座長の福川裕一千葉大学教授がアドバイザーとなり、懇談会の市民委員にも審査に参加していただきました。

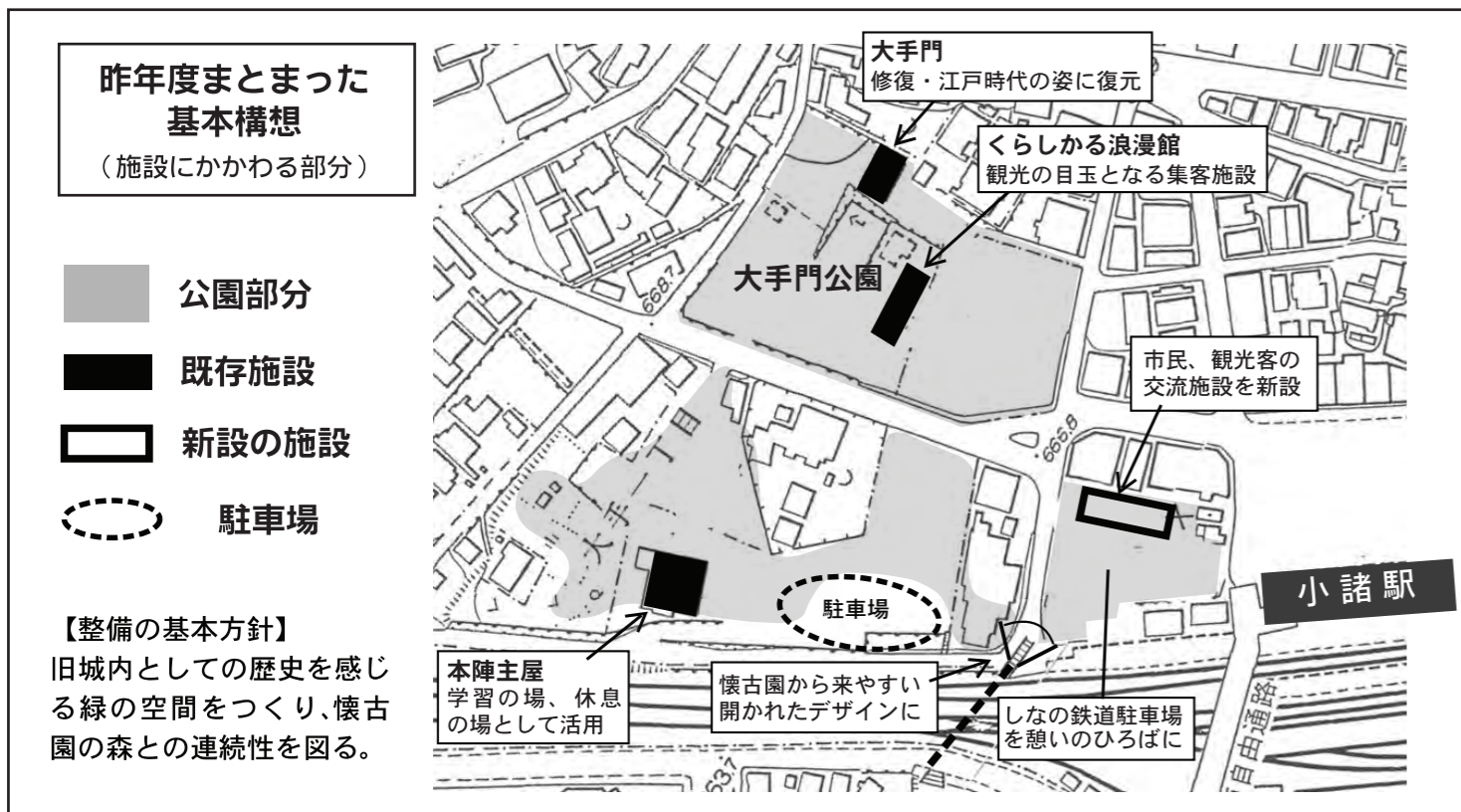
その結果、建築家の宮本忠長さんを中心とする専門家チームが選定され、今後の具体的な設計作業にあたることになりました。宮本さんは、小布施町のまちづくりに建築家として携わった方で、小諸では文化センターを手がけています。

# 大手の杜の施設づくりの方針案がまとまりました。

昨年度、市民のみなさんと話し合いながらまとめた「基本構想」に沿って、具体的な施設の内容を検討してまいりましたが、このほど具体的な方針案がまとまりましたので、お知らせいたします。

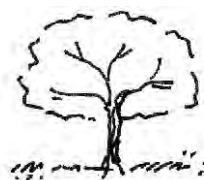
これにつきまして、ご意見のあるかたは小諸市企画課までどうぞ。

\*公園全体の設計については、範囲やデザインを調整中です。



## ●市民参加の施設づくり（ソフト）のめざすもの

- 花と緑の拠点 市民みんなで四季の彩りのある魅力的な花と緑を育てる。～花と緑のまちづくりの拠点。
- 歴史ものがたり 市街地の側に、城下町の歴史を伝える観光スポットをつくる
- にぎわいづくり 文化・観光施設を核に、魅力的な商業ゾーン、歩行者動線を広げていく。
- 特産品おこし 小諸の特産品の販売を通して、地場産品を育成、PRしていく。



## ●各施設の内容案と担い手イメージ

\*この通信で公募した、市民有志のみなさんに意見を出していただきながらまとめました。

\*運営は、希望団体を募り、条件を折衝して委託していくことを考えています。(指定管理者制度)

### 本陣主屋

#### 「歴史を活かした城下町案内の拠点」

- ・宿場の資料などを活かし、城下町散策の拠点として活用する。
- ・浅間山の見える座敷をうまく活用する。

### しなの鉄道駐車場

#### 「市民ガーデン」

- ・市民有志により、高原の草木の楽しめる憩いの庭を育てる。
- ・シンボルツリー等を置配し憩いの場やにぎわい広場として活用する。

#### 「ガーデンショップ」

- ・懐古園の客の回遊性を高めるために、トンネル出口の正面に魅力的なショップをつくる。
- ・園芸関連商品、地場産品(加工場でつくったものなど)、スナック類の販売。

★花と緑のグループ、ガーデナー、地場産品グループの参加協力で、自立的運営を目指す。

### くらしかる浪漫館

#### 「文化交流施設として活用」

- ・小諸の手仕事、クラフトを紹介するショップ、体験工房、展示スペース。
- ・繭倉庫としての歴史性や物語性を感じさせる現在ある展示物で、使える物は使う。
- ・文化体験、交流スペースとしてとして多目的につかえるカフェテリアをつくる。(シーズンは屋外にも広げてオープンカフェにする)

★運営に小諸の工芸家や手仕事作家、音楽家などに参加してもらい、販売やイベント企画計画などを練り、経費的に自立した経営を目指す。

## なぜ今「大手の杜づくり」なの？ …… みなさんのご質問にお答えします。

なぜ駅前に、公園をつくるのが、もったいないのでは？

こんなことやって、人がくるのか？



商店街の振興に結びつくのか？

### ●「大手の杜」の意味

- ・緑地に隣接した魅力ある駅前、商店街をつくる。

全国的に中心市街地が衰退してきていますが、小諸も例外ではありません。今、行政としてできることは、ひとつには補助金などを上手に利用し、集客の目玉をつくることです。公共事業で「市民や観光客が足を向ける目的となりうるような魅力のあるエリアや施設」をつくり、商店街と連携してその周囲も活性化する、そんな戦略を共有し進めていくことが大事です。

「大手の杜づくり」では、大手門の修復を契機とし、城跡の緑を再生して歴史性と四季の彩り豊かな文化創造ゾーンを生み出そうとしています。

- ・市民が来たくなる場所、楽しい場所をつくる。育てる。

しかし門や公園をつくただけでは不十分です。何か見たり食べたり買ったり、そこにいけば誰かに会える、まちなかで四季の自然が楽しめる、という魅力づくりが必要です。イベント企画なども有効です。

この大手の杜では、その部分に市民のみなさんが楽しんでかかわってくださるような運営の方法を、市民参加で検討しています。公園という開かれ

た場所をみんなで育てることで、異世代交流、市民と観光客の交流などがひろがるよう、さまざまなしなかけをみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

- ・観光客をまちなかに呼ぶための、核となるゾーンをつくる。

現在、駅の東側には、これといった観光施設がありません。懐古園～大手門～北国街道～相生町という流れをつくるためにも、魅力ある大手門と城跡公園はまさに扇の要となります。

神社の門前に市が立ったように、緑と文化のエリアに接した商店街は工夫次第で人を呼び込む力を持ちます。特色ある通りや店づくりといった地元商店街等の取り組みに対しても、市として後押ししていきたいと思っています。

### ●動線計画、駐車場の確保、施設管理について

にぎわいをひろげるための動線の検討、その中での駐車場の確保については、関係機関や専門家の声を聞きながら、現在取り組んでいるところです。

また、公園、施設の管理については、上記の方針に沿って引き続き市民参加で検討を重ねていきたいと思っています。

動線、駐車場の確保は、考えているのか？

公園、施設の管理はどうするのか？







### 地元区への説明会（本町・大手・市町・相生町） で出された主な意見

- ・大手門周辺の曲輪の緑を活かす。
- ・町中に緑や水を増やす。井戸を復元したい。
- ・本町～大手門～懐古園の観光動線づくり。
- ・いずまん跡地を観光駐車場に。
- ・駐車場とセットで情報センターが必要。
- ・藤村をいかす（義塾まで通った道をPRなど）
- ・大正レトロ調の建物を保存、活用。
- ・大手門の使えなくなった瓦や部材を活用。
- ・本陣主屋をガイド協会の詰所に。
- ・市町・裏町通り落ち着いた雰囲気を活かす。
- ・本陣問屋を早く修復したい。
- ・養蓮寺などのすばらしい寺を活かす。
- ・浅間山や街並みの眺望ポイントをPRしたい。
- ・歴史的資料館や美術館が市街地にあるといい。

### 大手区民アンケート

- 必要なものは・・・観光バスと自家用車の駐車場／道の駅のような物産店／商業施設（土産品の売店、レストラン、喫茶、団体専用ルームor美術館、ガラスミュージアム、ガラス工房等の専門店）
- 本陣主屋は・・・以前のようにオープン／ガイド協会の事務所／昼：ギャラリー、夜：貸し室
- くらしかる浪漫館は・・・地元芸術家、工芸家等の作品展示／野菜・果物等の直売／体験施設／観光案内の拠点／みやげ、飲食、ライブハウス
- 公園の活用は・・・コンサート、イベント会場、憩いの場
- 観光客を誘致するには・・・無料化コース設定、案内／懐古園駐車場を廃止、バスを北駐車場へ誘導、まちなかの駐車場の整備／イベント企画／懐古園割引券
- 景観づくり・・・小諸八重紅桜の並木道づくり、花を植え、季節感を出す／武家屋敷風の壁づくり

### 緑のサポーター準備会での意見、議論

#### こんな緑がほしい

- 憩いの緑／ねっころがれて子どもが遊べる芝生ひろば／四季折々の山野草・木陰のベンチ、藤棚／あずま屋
  - 子どもの遊び場／木登りができる木／オープンカフェ、遊ぶ子どもを見守れるとよい。子育て支援になる！
  - 遊べる水辺／子供が遊べる水辺／子どもと生き物を育てられるビオトープがよい。カニや小魚をとって遊べる／水場とベンチを一体につくって。
- ←（設計者）現在ある井戸水をせせらぎに流したい。

#### 市民ガーデンについて

- デザイン／大手門周辺は和風だが、ガーデンは明治時代の停車場、和洋折衷のおしゃれなイメージがよい。
- 緑の演出／シンボルツリー（イルミネーション）／高原の山野草や多肉植物のサンプルガーデンをつくりたい／ハーブを育てお茶を楽しむ／段差を活かしたロックガーデン／木陰のベンチ／ハーブのイス／水場
- にぎわいのショップ・イベント／フリーマーケットが開ける場所／駅から、ワゴンやパラソルが見えるように／市民ガーデンショップ前をテラス（デッキ）にして人がたまるようなデザインに／特産の野菜などを焼いて食べるいろり／おしゃれなガーデンカフェ／園芸教室の開催を希望します

\*トイレの位置は、ここが最良か？

\*開催日や提案まとめについては前のページをみてください

#### 城址公園エリアについて

- 懐古園のような緑がよい／四季の草花で演出／石と苔、灯籠などで城跡らしく
- 桜、紅葉の名所に！／桜はコモロヤエビニシダレ。
- シンボル・借景を大事に活かす／田島陶器店前からの大手門、城の石垣、家並み、浅間のパノラマが小諸の自慢／大手門、三の門の見せ方がデザインの基本／欄津くるわ、江戸の石積みを活かす／城跡の歴史物語の演出
- くらしかる横をイベント広場にも使える駐車場に。
- 真ん中の小林さん宅も一体的な修景が必要。

#### その他について

- 商店街の活性化を考えてほしい
- ・ここにショップをつくるのではなく、空き店舗をショップにするのが先では？
- 公園に人を集め、それを商店街に引っ張るように考えないと、今は商店街の活性化だけ考えても難しい。
- 地元でなくても、小諸や商店街の活性化を考え参加している。市民応援団ができるのが大事なのでは？
- 「小諸に花と緑を育てる会」では、本町、相生町にギボシの鉢植えなどを置いてきた。市民ガーデンは花と緑のまちづくりの拠点と考えている。
- 観光案内は本陣主屋でなく、駅側にほしい。

### 公園の設計案について、検討を進めています。

### 施設利用方針もまとまり（→次ページで紹介） 具体的な運営の話し合いがはじまります。

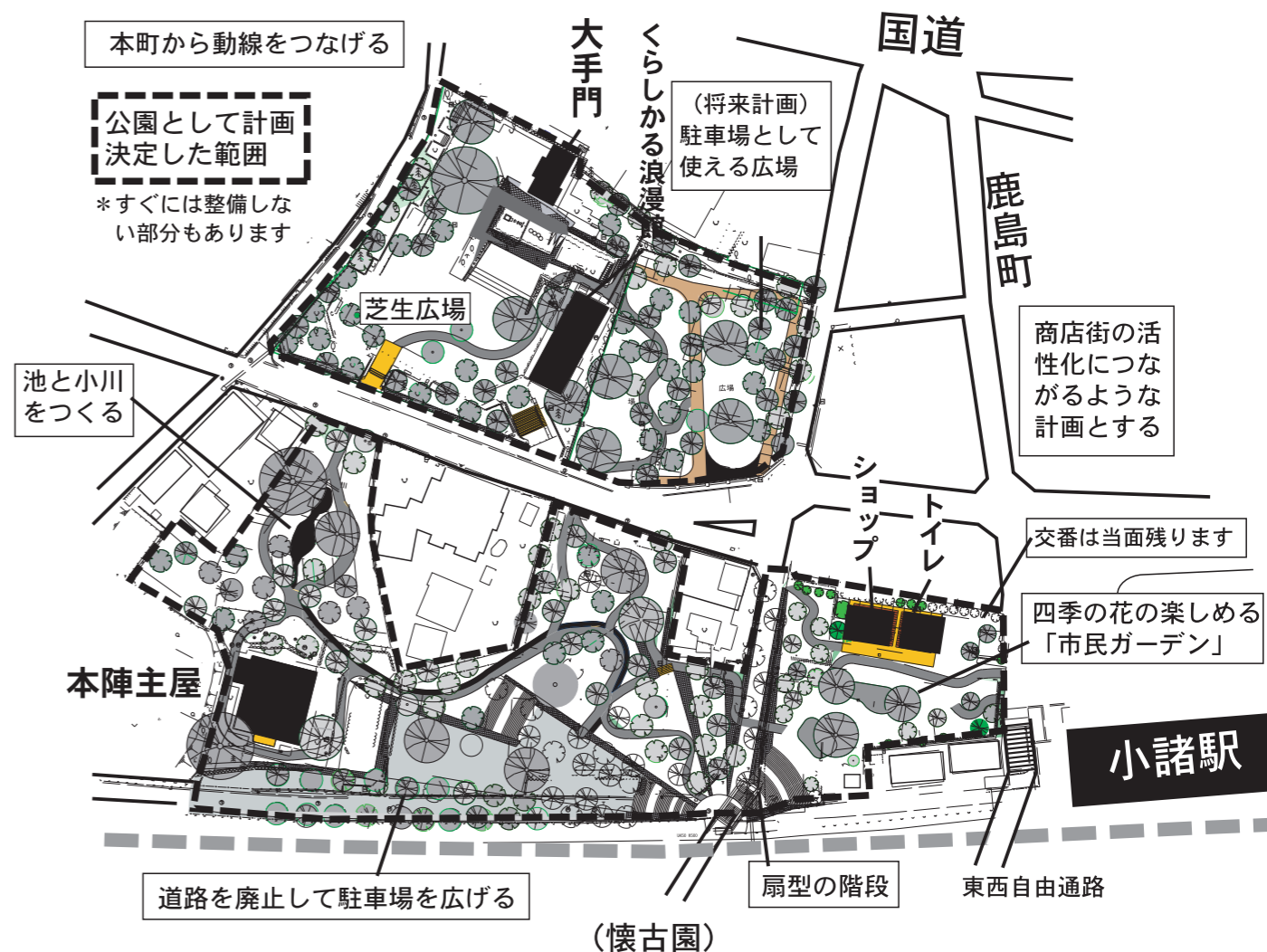
大手門を入口とする城跡を活かしながら、駅周辺に憩いの場・観光スポットをつくろうという目的ではじまった大手の杜づくり。

昨年、一応の形になった設計案をもとに、地元説明会を経て、さる3月27日に駅・大手門周辺整備まちづくり懇談会（関連団体の代表者会議）で検討しました。

今後は、そこで出された課題を調整し、設計をつめていきたいと思ひます。

#### （懇談会で出された課題）

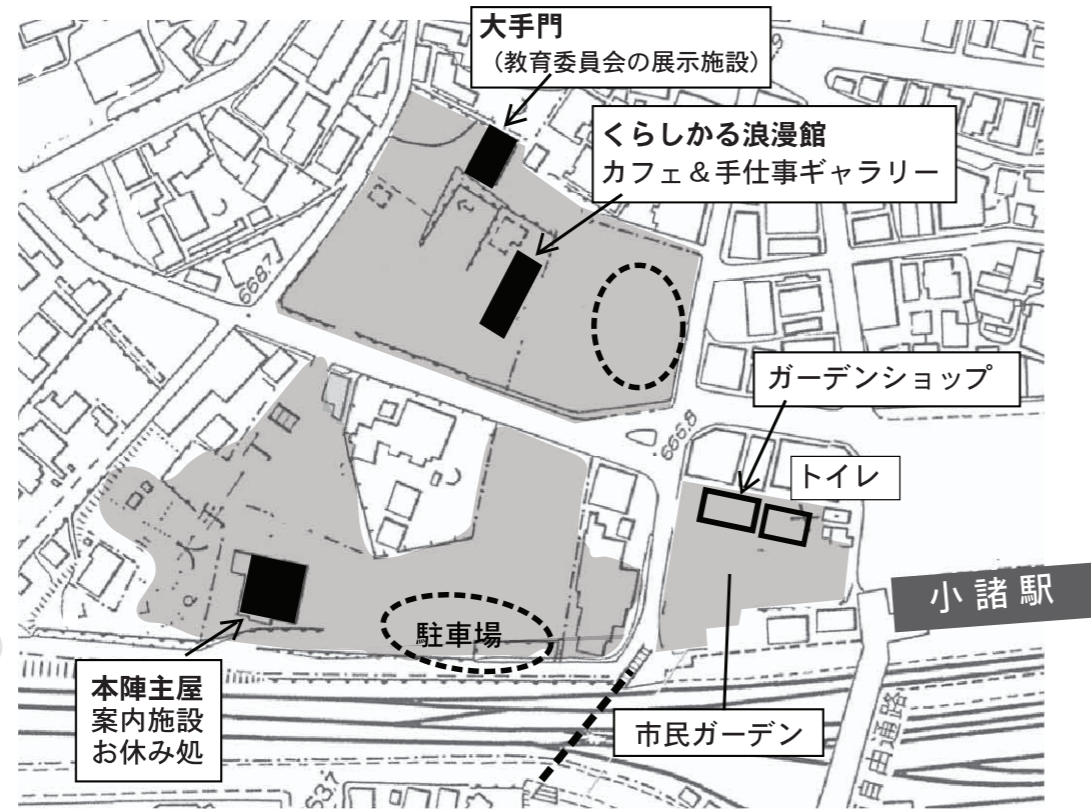
- ・観光客の動線を少し広いエリアで組み立てて、駐車場の位置や規模、案内施設の場所を再検討する。特にバスの動線を考えないと、団体客は誘致しにくい。
- ・地下道出口が穴城の形を損なわないか。\*注：小諸城は山本勘助が設計したという穴城型の城です。
- ・起伏が激しすぎて、駅から本陣に向う横の動線がつけづらい。
- ・田島陶器店前からの浅間山のパノラマ、町並み景観が損なわれないか。



# 大手の杜・施設利用計画案

18年度(今年3月まで)に、4つの施設について市民の様々な方が意見を出し合い、このような案がまとまりました。

- 公園部分
- 今ある施設
- 新しく  
つくる施設
- 駐車場



## 【本陣主屋】

### 案内&学習拠点・お休み処

- 公園・城下町案内。(展示資料を活かす)
- ながめのいい座敷を活かしたお休み処。

#### (担い手づくりの活動報告)

- \*小諸観光協会に手をあげていただき、市との話し合いを重ねました。
- また、観光案内所のありかた、観光客の動線についても意見を伺いました。

#### (担い手イメージ)

- 小諸観光協会に、運営の担い手になってもらう方向で調整しています。
- 観光ガイド協会の拠点施設としても使っていければという話も出ています。



## 【くらしかる浪漫館】

### 文化交流カフェ & ギャラリー

- 文化体験、交流スペースとして多目的につかえるカフェ。
- 小諸の手仕事、工芸を紹介する店、体験工房、展示スペースなどが設けられるとよい。

#### (担い手づくりの活動報告)

- 公募メンバーによる「まちおこし会社の準備会」で、活用提案を出してもらいました。
- 去年の市民提案に従い、工芸家ネットワークに声をかけ、ご意見をうかがいました。



## (施設づくりの方針)

- 公園だけ整備しても人は来ないので、おいしいもの、文化体験のある施設を、市民の力を集めて運営していく。
- 人が集まることで、まわりの商店街の活性化につなげていく。

## (具体的には)

- 利用者減少で閉館した「くらしかる浪漫館」と「本陣主屋」は、市民/民間業者に活用アイデアを出してもらい、運営を委託していく。
- 市民ガーデンには、花と緑や、地場産野菜のPR拠点となるようなにぎわいの拠点をつくり、市民の参加で運営をささえていく。

## 【しなの鉄道駐車場】

### 市民ガーデン

- 四季折々の花と緑が楽しめるガーデン。
- 小諸らしい高原の草木、多肉植物などのサンプルガーデンをつくる。
- ガーデンテラス、シンボルツリー等を配置しイベントや講座などができるひろばとする。

#### (担い手づくりの活動報告)

- 7/29 第1回サポーター準備会 (34名参加)  
ガーデニング講座/見学会 (35名)
- 9/3 第2回サポーター準備会 (13名)  
ガーデニング講座/提案づくり (22名)
- 2/4 第3回・合同会議  
/設計者と意見交換 (28名)
- 3/11 第4回・合同会議  
/設計者と意見交換 (11名)  
(参加者のべ143名)

- ★参加者から「市民ガーデン」「子どもの遊べる水辺」「サクラとモミジの名所づくり」などの要望が出され、設計に盛り込まれました。

#### (担い手イメージ)

- 市民ガーデンの担い手として、「小諸に花と緑を育てる会」の有志、地元有志などが協力体制をつくっていこうと話合っています。
- 公園全体の緑や水辺の管理運営も、できるだけ市民ボランティアを募ろうということになりました。

### ガーデンショップ

- 地場産品、おこびれスタンド、園芸の販売。  
(担い手づくりの活動報告)

#### ●地場産品、おこびれスタンド

- 「食のたんけん隊」として参加者を公募し、名物の掘り起こし、交流を実施しました。
- ★「地場産の食材でつくる名物売りたいたい、作りたい、それを通して地域の食文化を豊かにする人の輪をつくりたい」という提案が出ました。

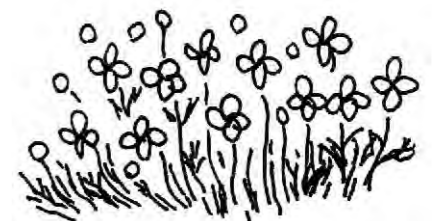
#### ●園芸コーナー

- 販売品、園芸講座のイメージをふくらませる実験イベントを行いました。

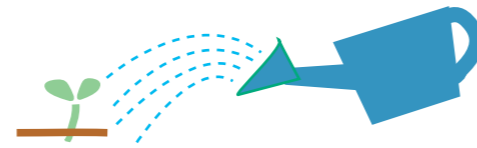
- ★人気の高い多肉植物は小諸の気候にあっているため、特産品にしたいという提案が出ました。

#### (担い手イメージ)

- 地場産品のほうは、小諸の食にかかわる主に女性をネットワークして企画をまとめていきたいという方向性が見えてきました。
- 園芸コーナーは、市民ガーデンの担い手の中で専門性のある園芸家、ガーデナーなどが中心になって検討していくことになりました。



# 市民ガーデンにご協力をおねがいします



いろいろなグループをつくり、オープン準備を進めています。どうぞご参加ください！

\*今年度の市民ガーデンの立ち上げは、「まちづくりプロデュース事業」として取り組んでいます。

## (仮称) 緑のサポーター

主任スタッフ：中村勝廣氏（園芸家）  
現在の登録メンバー32名

昨年から始まった「花と緑の学校」の受講者を中心に、ガーデンの担い手のグループができ、以下の準備を進めています。

- ・市民ガーデンのデザインや、花と緑の管理を市民の手で行うための体制づくり。
- ・植物を特産品として販売するための、生産体制づくり。（ショップではみなさんのつくった苗種、こけ玉、多肉植物などを受託販売して、ガーデン運営費に加えていく予定です）

### 【今後の花と緑の学校・予定】\*要予約

- 12/7（日）クリスマスと正月寄せ植え作り\*
- 1/17（土）コタツ園芸の楽しみ方  
～カタログ、参考書籍、植物栽培計画
- 2/1（日）園芸用具の種類と使いかた
- 2/21（土）・プランター用土を自給しよう！  
・君子蘭の育て方
- 3/1（日）宿根草と付き合い方秘訣
- 3/22（日）多肉植物の軽石植え作り\*

場所等、問い合わせ：22-2227（旅カフェ）

## 「NPO法人こもろの杜」が、指定管理者としてガーデンを運営する予定です。

大手の杜の活用提案を検討してきた市民有志が、市民アイデアを実現するためにNPOを立ち上げました。市はこもろの杜に運営を委託する予定で、現在、協議を進めています。できるだけショップ等で売り上げを伸ばし、自立した運営となるように知恵を出し合っています。

## 報告「歩いて楽しむ坂の町 戦略会議」を開催しました。

\*まちづくりプロデュース事業

小諸市の主催で、まちづくり団体に呼びかけて、有志に駅周辺のまちづくりについて課題と提案を出し合いました。本町、大手、相生町のまちづくり推進協議会、観光ガイド協会、NPOなどの有志が集まり、右のような提案をまとめました。今後、できるところから実現していくことになりました。

## 小諸の味づくりの会

主任スタッフ：高地清美氏（栄養士）  
現在の登録メンバー28名

ガーデンハウスのカフェで提供する、地産地消の食材発掘やおいしいメニューの開発に取り組んでいます。これまでメニュー開発の会を5回開催しており、地元のシェフを講師に招くなどして、研究を重ねています。



健康一皿ランチを研究中です

- ★名物メニューとして、この地方で「イクサ」と呼ばれる健康食材のエゴマでつくった「いくさ汁粉」を開発し、これまでイベント等で提供して好評をいただいています。大手門にちなんだ名物に育てていきます。
- ★来春から小諸商業高校に新設されるビジネスコースの実習の一環として、カフェづくりへの参加が予定されています。今年のふ〜ど祭りでは、味づくりの会スタッフがお手伝いし、高校生が料理を提供しました。

## 市民ガーデンの愛称募集！

オープン後の一般的な呼び名となる、市民ガーデンの愛称を募集します。

- ・この場所の歴史性を感じさせる名称。
- ・観光客が「訪ねてみたくなる」ような、魅力や独自性のある名称。

★締め切り 平成21年1月23日(金)  
★問い合わせ：商工観光課 22-1700(内260)

### (課題とアイデア)

- 外からの人が、町なかの駐車場の場所等がわからない。  
→ 観光協会のホームページに案内をアップする。
- まち側に見学施設がなく、旧家の店も開けて入りにくい。  
→ 町並み歩きの日を設定し、店に入りやすい工夫をする。  
→ その日に合わせて町なかで人力車を走らせる。  
→ まずは、お人形さんめぐりなどで協力体制をつくる。
- 相生町で街路の緑化をしているが、専門知識がないのでなかなかうまくいかない。（おかみさん会）  
→ 市民ガーデンにできる「花と緑の相談所」に商店街の緑化などを支援してもらえるとよい。



信州こもろ

# 駅・大手門周辺まちづくり通信

10

平成20年11月

発行／小諸市（駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム）

お問い合わせ／小諸市企画課 0267-22-1700（内線256）e-mail：machi@city.komoro.nagano.jp

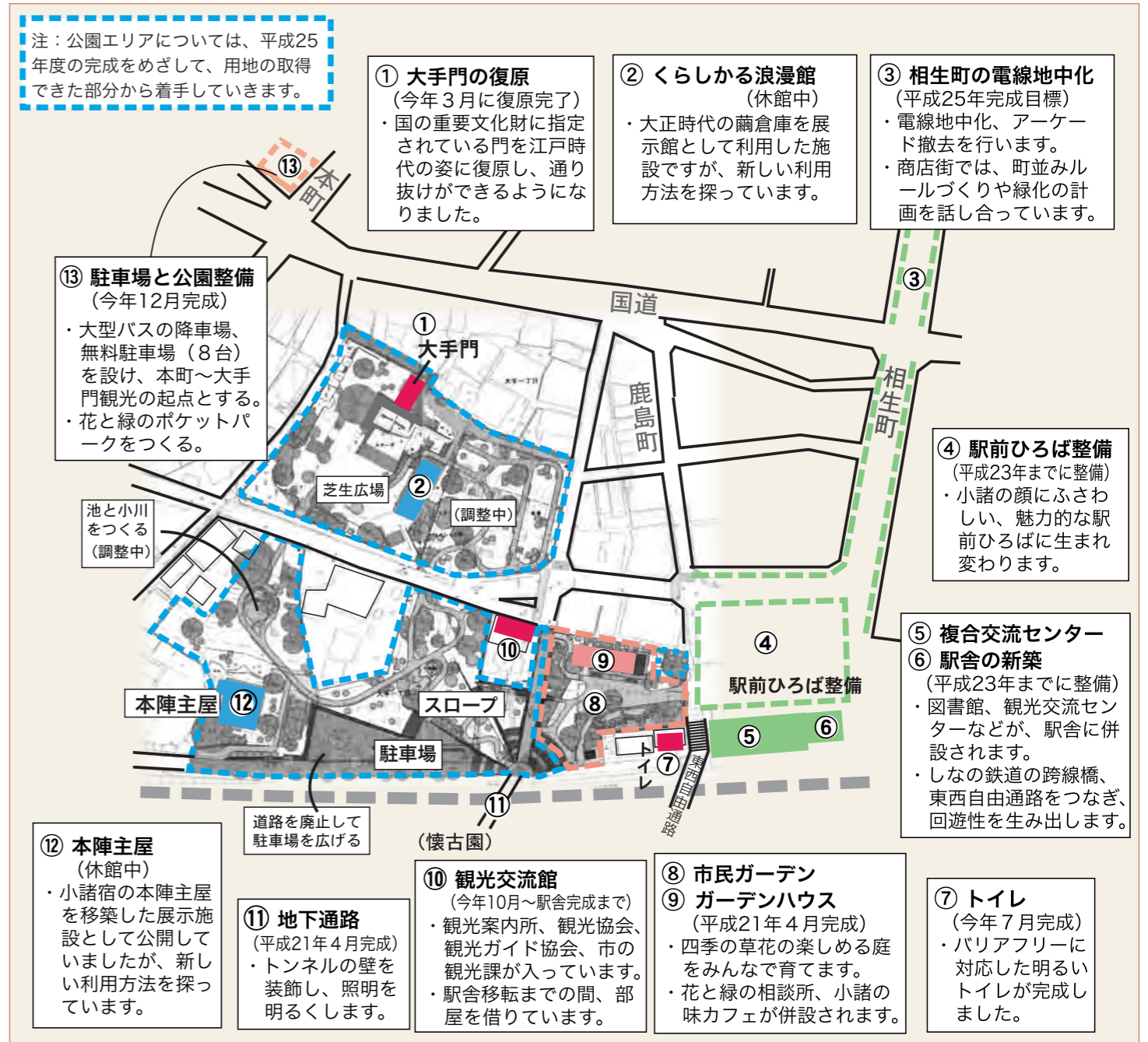
## 駅周辺まちづくりは、このように進んでいます。

小諸市では、国のまちづくり交付金を活用して、大手門・駅周辺を観光やにぎわいのエリアとして再生し周辺商店街活性化を進めるために、次のような事業を進めています。

- **すでに完成した施設・整備**
- **今年度完成する施設・エリア**
- **実施することが決定した施設・エリア**
- **調整中の施設・エリア**



今年の10月にオープンした観光交流館は、大正時代の繭問屋の建物です。（地図⑩）



# 駅舎を建て替え、複合交流センターを併設します。その中に図書館を移転する計画です。

市では駅・大手門周辺まちづくり整備事業の一環として「駅舎の改築と併せて駅舎に併設する複合交流センターの中に新図書館の整備」を計画しています。平成21年度中の着工、23年度中の完成を目指しています。事業費は約13億円でその4割に国のまちづくり交付金が当てられます。

## 【現在の駅舎の課題】

- ・老朽化がすすんでいる。(昭和25年改築)
- ・バリアフリー化に対応できてない。(1日の乗降者人員が5,000人に及ぶ駅でバリアフリー化の整備ができていないのは県内では小諸駅だけとなっている。)

## 【現在の図書館の課題】

- ・老朽化がすすんでいる。(昭和37年建設)
- ・狭い。(自習するスペースが少ない等)
- ・駐車場がない。
- ・IT化に対応できてない。
- ・バリアフリー化に対応できてない。

## 【駅と併設することのメリット】

- ・通勤、通学の人、電車やバス利用者が気軽に寄って、本に親しむことができる。
- ・まちなかに文化の核が残ることで、小諸の中心性が保たれ、また中心市街地の活性化につながる。
- ・観光で小諸に来た人に、小諸の情報を伝えることができる。
- ・駅舎と併設することで、国のまちづくり交付金が利用できる。



## 市民の皆さんのご意見 (市民アンケート、説明会でのご意見の抜粋)

### ■市民アンケートの結果 (無作為抽出/回収数309名)

駅舎併設複合交流センターの整備について  
賛成 60.6% 反対39.4%

\*反対の理由は「別の事業を優先する」が41%で1位。

### 図書館について

騒音が心配。図書館は静寂が条件(多数意見) / 現在ある文献や蔵書をどうするのか十分検討が必要 / 学生の自習室を広くとって / 駅舎併設で広さや駐車場が十分とれるのか? / 移動図書館、読み聞かせボランティアなど図書館のソフト面も充実してほしい / 緑に囲まれた図書館に



お寄せいただいた課題、要望等を参考に機能的で使いやすい複合交流センターの整備を目指していきます。今後もご意見をお願いします。

### 駅舎、その他の併設の施設について

バリアフリーを進めてほしい(多数意見)。現在の駅は不便 / 小諸らしいデザインの駅舎に / 近代的なものではなく「なつかしさ」を感じる駅舎に / コンビニ、お土産物などを充実させて / 観光客をまちのほうに誘致する導線を考えて / 資料や展示で駅などの歴史を見せてはどうか / 屋根でソーラー発電を

### 進め方、費用等について

できるだけ建設費用を押さえる / 利用者や図書館ボランティアを図書館の計画検討に参加させてほしい / 市民の参加で計画を進めてほしい

## これまでの経緯

### 駅舎改築の経過

- ・中心市街地活性化基本計画(平成12年3月)  
「小諸駅舎及び周辺を整備して、小諸市民が誇れる、また、観光客の期待に応える小諸の顔を形成する。」
- ・小諸駅舎及び駅周辺整備計画検討委員会提言(平成16年4月13日)  
「先取の気鋭に富んだ商都小諸を連想させる洋館風と城下町の落ち着いた佇まいの装いを持つ城風の駅舎の2案とする。」

### 図書館建設の経過

- ・市立小諸図書館建設検討委員会報告(平成16年3月31日)  
「築後、42年が経過したことから老朽化が進むとともに、狭隘になっており改築が必要となっています。」
- 「望ましい図書館の機能・図書館の規模・敷地規模について報告」
- ・芹澤市長選挙公約(平成16年4月)  
「図書館のある駅舎改築を進めます。」

来年4月オープン  
をめざして

# 市民ガーデンの準備が進んでいます!



小諸市では、平成17年から市民参加で大手門公園の活用に取り組んできました。その成果として、まずは市民ガーデンが来春にオープンします。市民有志のみなさんで「NPO法人こもろの杜」を立ち上げ、多くの市民の参加協力をいただきながら、オープンの準備を進めています。

★なおガーデン施設の企画立ち上げについては、ふるさと財団助成の「まちづくりプロデュース事業」を活用し、各種専門家に協力依頼して進めております。

## ■小諸市の気候風土を活かした特色のある市民ガーデン

市民ボランティアの参加により、四季折々の小諸の草花を育てる。高山植物から園芸植物、ハーブや多肉植物など特色のある多様な植物を扱うガーデンであり、小諸市の「花とみどり」の発信拠点となる。

★市民参加による手作りガーデンの提案が、「緑のデザイン賞」で国土交通大臣賞を受賞し、施工費を獲得しました。今後はNPOが中心となり、多くの市民のみなさんの協力をいただき、すばらしいガーデンを実現させていきます。



## ガーデンを望むテラス

パラソルとテーブルを設置。朝は散歩の高齢者、午前中は子連れママ、夕方は高校生の利用を想定。休日は「名物」を宣伝して観光客を呼び込む。

## ■庭を楽しむテラスのあるガーデンハウス(管理棟)

### ●小諸の味カフェ

地産地消の食材を活かしたメニューを開発。ガーデンのハーブ等も使う。世代交流、食育の場となるような農と食にかかわる講座を企画実施。



### ●特産品ショップ

カフェでも使う農産物などの販売。おやき、アイスなどの加工品はテラスですぐ食べられる。珍しい品種の鉢花、軽石や苔玉などを市民有志で育成し、販売。



### ●花と緑の相談所

- ・専門家が市民の園芸相談に答える。
- ・ガーデン管理運営を指導する。
- ・花と緑のまちづくりを支援する。
- ・花と緑の講座を実施する。

## 完成イメージ図



珍しい植物が並び、冬も楽しめる温室

ウォールガーデン(石積みの中に植栽)

ウェルカムガーデン

トイレ

登れる木とねころがれる芝生

子どもが遊ぶのを、テラスから保護者が見守る。

## ■明治の駐車場の歴史性を受け継ぐ

現在ホームにある、明治の旧油庫(レンガ造り)を、歴史のシンボルとし、活用する。

公園実施設計・ハウス基本設計:宮本忠長建築設計事務所  
花壇・植栽提案:NPO法人こもろの杜  
ハウスの実施設計:甘利享一建築設計舎



発行／小諸市（駅・大手門周辺まちづくりプロジェクトチーム）

お問い合わせ／小諸市企画課 0267-22-1700（内線256）e-mail : machi@city.komoro.nagano.jp

## 市民ガーデンの愛称が、「<sup>ていしゃば</sup>停車場ガーデン」に決まりました。 オープンは、4月18日です！

### ■ガーデンハウスが完成しました

駅・大手門周辺まちづくりの中で先行して整備が行われている「市民ガーデン」は、建物は完成し、現在は庭づくりが急ピッチで進んでいます。

3月中に園路などの造成、樹木の植え込みが終了し、それから草花を植えていきます。

約300種類の草木が植え込まれる予定で、四季折々楽しめる庭になります。植栽については、ガーデンの管理運営にあたるNPO法人こもろの杜が、「緑のデザイン賞」から資金を得て、ガーデン専門家や市民ボランティアに協力してもらい植え込んでいきます。

### ■愛称は「停車場ガーデン」です

通信10号で公募した愛称募集に対して、市民のみなさんから48件の応募がありました。

さる3月3日、地元代表者、観光協会等の11名による選考委員会が開催され、名称が決まりました。

選考理由は、「明治26年の信越線開通当時のレンガの倉庫がガーデン内に残されており、ガーデンハウスもレンガをモチーフにデザインしている。懐かしさと明治のロマンをPRして、駅周辺の明治大正の建物群のイメージアップにもつなげたい」というものです。



ガーデンハウス（3月3日）

議論の中では、江戸時代の城跡にちなんだ名称をつけるべき、花をイメージする名称がよい、という意見もあり、最後は投票で絞り込みました。

### ■4月18日、オープンします

NPOこもろの杜では、懐古園の桜まつりに合わせてオープンしようと、大急ぎで準備を進めています。セレモニーは短時間とし、あとは来園される方が気持ちよくガーデンの草花やこもろの味を楽しんでいただけるようなお楽しみ企画を考えています。お楽しみ企画は、連休中も継続していきたいと話合っています。

## 本町、相生町との花と緑のネットワークが広がっています。

### ■「ほんま<sup>ゆうし</sup>ち遊子公園」が誕生しました！

本町交差点に、昨年12月、無料駐車場（15台）と公園が完成しました。藤村の詩から遊子（旅人）の名をとり、コモロヤエベニシダレなど花の美しい小諸特有の樹やめずらしい樹が植えられています。通りの向いのフェンスも、市民から寄付をつのり子どもたちとペンキを塗って板塀に変えました。みんなの力で、本町の玄関口としてふさわしい雰囲気のある場所が誕生しました。

### ■相生町の町並みが生まれかわります

相生町商では、21来年春から電線地中化工事とアーケードの撤去、22年から市の修理修景事業による建物の修景が予定されており、数年後には新しい相生町が町並みが生まれる予定です。

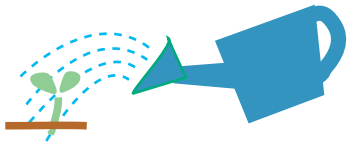
その話し合いの中で、おかみさんなどを中心に「花と緑で魅力づくりをしよう」という機運が高まっており、停車場ガーデンと連携して計画を練っています。



ほんまち遊子公園

\*この公園は、県の元気づくり支援金を活用しています。

# 「停車場ガーデン」に、ご協力をおねがいします



「懐古園の杜を背景に四季の花が楽しめるテラスで、おいしい小諸の味を楽しめる場所。緑や食を通して人の輪が広がり、健康でいきいき活動できる場所。そして、少しでもまちなかの元気づくりにつなげたい・・・」。そんな思いで、NPO理事、スタッフ、ボランティアが力を合わせ、施設の運営準備を進めています。

みなさんも、できるところでご協力をお願いします！



## こんな施設になります

(営業日、時間).....

木曜定休 / 祝日、桜まつり、連休、お盆は営業。  
営業時間 / 4~9月 9時~7時 10~3月 9時~6時  
ランチタイム 11~2時30分 (軽食など)  
花と緑の相談(無料) 毎週3回 10時~4時

(ガーデン・温室案内).....

ガーデンには、草原、里山 野原 田園などのイメージの花壇があります。ガーデンボランティアが中9心となり、手入れをしていきます。温室は、美しく面白い植物の展示。愛好者、市民が持ち寄る繁殖品の販売もおこないます。

(カフェ・ショップ).....

### ●こもろの味カフェ

体にいい旬の地場産野菜を食材に、安全安心の健康メニューづくりをめざします。こもろの味づくりの会の仲間と料理研究を行い、地場の野菜のおいしい食べ方を紹介していきます。

### ●ショップ

食べ物 / 地元の女性グループや市民のこだわりの農産加工品など。\*地場産、添加物なしが基本です。  
\*生鮮野菜は、今後の検討です。

園芸品 / 苔玉、多肉植物、寄せ植え、軽石園芸、盆栽、草木の苗、種など、信州の園芸品。

手作り品 / ドライフラワー、リースなどの植物を素材とした手作り品、植物をモチーフとしたクラフト品、ハーブ関連商品

(講座案内).....

### ■花と緑の学校 (園芸講座、花と緑のアート講座)

月4回、小さな園芸教室 随時

### ■食と野菜の学校 (旬の野菜を食べる講座、子育て

・おやつ講座、行事の郷土食講座 月3回

## 一緒に花を育てませんか？

### ~「こもろ花くらぶ」メンバー募集

花の好きな人が集まり、みんなでガーデンを育てたり、花と緑の講座を運営しようというのが、この会の趣旨です。現在、●名の仲間がいます。

どなたでも、どうぞお気軽にご参加ください！

★団体での参加も募集しています。

## 加工品、園芸品、手作り品の出品者を募集します。

市民のみなさんがつくったものをお店に並べます。左にあげたような商品をお持ちください。20%の手数料(植木類は25%)で、受託販売いたします。出品するものについては、それぞれの担当者と直接お話しください。興味のある方は、下記の「こもろの杜」にご連絡ください。

## 「NPO法人 こもろの杜」

### 会員募集中！

市から停車場ガーデンの運営を受託するNPOは、市民有志の参加協力により成り立っています。

ただいま会員募集中。入会金千円・年会費千円で、1千円分のクーポンを差し上げます。また、講座やイベント、商品案内などもお送りします。

詳しい案内書のご請求は、下記まで。

上記募集への  
お問い合わせ

## NPO法人 こもろの杜

小諸市相生町2-2-1 こもろ旅カフェ内  
こもろ旅カフェ内

TEL22-2227 FAX 26-2078

E-mail: mori@tabi-cafe.jp